特239
305

秋

政界裏面史年鑑

下期版

局解剖調査所編纂

日本文化出版協會刊

0004797000

0004797-000

特239-305

政界裏面史年鑑

時局解剖調査所・編纂

日本文化出版協会

昭和１３年度版　下巻

昭和１４

ABC

特239
305

時局解剖調査所編纂

政界裏面史年鑑

下期版

日本文化出版協會刊

特239
305

時局解剖調査所編纂

政界裏面史年鑑

下期版

日本文化出版協會刊

七月中に於ける

政界裏面史情報

七月（目次）

一、輸入制限の範圍擴大のため ‖
代表品發明奬勵機関生れん、政府は發明奬勵局
民間では財團法人 ……（一）

一、新プレントラスト結成のため ‖
政治的、書記局設置され、内閣三長官の更迭は必至 ……（二）

一、兒玉機構の反對運動緩和要望 ‖
中支の情勢と氏のアイデア一変に ……（三）

一、参議補充、内閣参與を置き ‖
近衛首相外廓擴充寡頭政治を布かん ……（四）

一、軍部の人的要素擴充のため ‖
豫備役將星の復活論、殖民地長官も現役武官制 ……（四）

一、獨は建川、伊は小林、米は野村の各將軍
大公使の大異動に宇垣人事期待さる、外務次官は
谷支那公使有力 ……（五）

一、新國策樹立機関 ‖ 東亜聯究所政府に設置せん
民間國策機関を補助指導 ……（六）

一、水害による農村救濟案と ‖
戰時態勢強化のため ……（八）

一、支那両政権の急速合流に代へ ‖
独立都市、産業別農村の自治制、ゼネター制の上に
行政廳設置案 ……（九）

一、壬克敏、唐紹儀、陳中孚の活躍 ‖
大和クラブ意見を表明せん、對支根本策に
大川、石原氏等奔命 ……（一〇）

一、聖戰第三階級に對應 ‖
本月上旬連絡会議開かれん ……（一一）

一、小賀本家苦悶象徴の一場面 ‖
　鮭鱒の罐詰は大財閥から輸出決定 …… 一（一）
一、東洋に於ける英國の態度 ‖
　親英派も再認識、對支政策上喜ぶべき傾向 …… 一（二）
一、オリムピックの開催不能 ‖
　ホテル業者、骨董商對策協議 …… 一（三）
一、末次・秋山両氏の確執解消 ‖ 内相の地位愈々安定 …… 一（四）
一、池田藏、商相の病狀如何では ‖
　藏相專任となり、商相は結城氏か …… 一（五）
一、日滿支經濟ブロック結成 ‖ 政府近く具体的着手か
　三國代表の東京招集説抬頭 …… 一（九）
一、鳩山氏の離党勸告論起る ‖
　總裁問題のもつれ愈々深刻 …… 二（〇）
一、南進國策に朝野の大関心 ‖ 飛躍的、具体化運動起る
　有志が集まり南方協議会を結成 …… 二（一）
一、愛國陣営に佛ソ膺懲論 ‖ 実力行使の強硬主張起る
　一部強ソ病患者の認識是正 …… 二（二）
一、各省の実質的統合実現 ‖ 行政機構の改革漸次進捗 …… 二（三）

一、暫定的に中央機関急設 ‖ 總裁は陸軍大臣が兼任
大使は軍司令官の兼任に内定 …… 二（四）

一、萬博オリムピックは結局中止を免れず ‖
今や平和事業の意義を喪失 …… 二（五）

一、現地連絡会議を新設か ‖
日支間の完全なる提携を圖る …… 二（六）

一、企劃院を國務院に改組 ‖ 内閣上位の國策機関とす
枢密院と對等の地位に昇格 …… 二（七）

一、外務次官を繞つて ‖ 幣原ブロックの暗躍、
欧米依存外交の再建を策す …… 二（八）

一、両政權合流は多少遅延の形勢 ‖
陸相の「長期建設」が示唆 …… 二（九）

一、社会情勢に伴ふて ‖ 社大党改組から解党へ、
今秋安部氏引退必至 …… 三（〇）

一、八、九月頃に連絡会議 ‖ 愈々解決の方一歩へ、
政戦両局に新展開を期待 …… 三（一）

一、両政権の合流に代つて ‖ 聯邦制採用の促進論台頭、
北中支の特殊事情を織込んで …… 二（二）
一、大和倶楽部、積極運動へ ‖ 新官僚運動と微妙な関係、
全國青年層へ動きかけん …… 二（三）
一、新旧財閥及び第三國の ‖
投資領域を明確に區分 …… 二（四）
一、對支援助の理由は奈何 ‖ 宇垣外相英國大使に詰問、
英政府狼狽、回答を保留す …… 二（五）
一、皮革統制と水平社關係 ‖
有馬農相、板挟みの苦境 …… 二（六）
一、宅野氏、安岡氏を相手に反撲不敬の兎に於て告発、
愛國陣営に深刻な衝撃起る …… 二（七）
一、民政系宮僚の「十日会」現狀維持陣営の作戦本部
各省人事にも裏面で暗躍 …… 二（八）
一、各種の支障不便に鑑み「情報蒐集」機関愈々独立か
外務関係を除し一切の統合 …… 二（九）

一、余漢謀、蔣の下野を條件に、我が軍事行動中止方を哀願
老檜なる英國の策謀の現はれ …… 四（〇）

一、英國の和平提唱好手段 ‖
大隆派、成行を嚴重監視 …… 四（一）

一、平生北支顧問辭任せん ‖ 財界から [illegible] はる …… 四（二）

一、宋哲元、李宗仁連名で ‖ 兼長老へ [illegible]
時期すでに晩れたりと一蹴さる …… 四（三）

一、民主々義國家に對抗し、反共中國ブロ[illegible]ノ結成 …… 四（四）

一、宇垣外相、優柔を許さず ‖ 省内外に漸々惡氣流醞釀
日和見的態度に革新派も不滿 …… 四（五）

一、知日派の新政權合流は ‖ 漢口攻略前後に実現せん
反蔣派、密かに時機を覘ふ …… 四（六）

一、林森、蔣介石に下野勸告 ‖ 知日派、親蘇派分袂近し
棄鉢の蔣、焦土抗日續く …… 四（七）

一、中島派、決選投票を主張 ‖
總裁問題、鳩山派逆勢となる …… 四（八）

一、南部、小磯両大将の入閣説 ‖
俄然、軍部方面で有力視さる …… 四（九）

一、廣東中心の新政権も豫見 ‖ 軍部、聯邦制の確立を強調
各政権の合流統一は全く至難 …… 五（〇）

一、新聞の自由主義的報道 ‖ 銃後國民の判断を惑はす
故意か、偶然か、一部に統制論 …… 五（一）

一、宇垣内閣説、俄かに抬頭 ‖
時局の動向に或る種の示唆 …… 五（二）

一、内政会議の強硬論か ‖ 三相、五相会議をリード
宇垣、池田両相の態度注目 …… 五（三）

一、宇垣外交の実体検討論 ‖ 革新陣営方面に俄かに抬頭
落洋模湖たるに慊らずとて …… 五（四）

一、南洋方面の華僑挙げて ‖ 新政権支持の態度を表明
石原産業を通じて申入れ …… 五（五）

一、東拓内部の紛争暴露 ‖ 安川社長、結局辞任か
渡辺前理事の一石重大化す …… 五（六）

一、四省事務當局の間に ‖
統制問題を繞つて軋轢 …… 五（八）
一、民政党の底流漸く動く ‖
反總裁派の空氣表面化か …… 五（八）
一、宇垣拓相も成行き重視 ‖ 東拓内部の大改組斷行か
不見轉経営の破綻遂に来る …… 五（九）
一、内閣情報部の越権沙汰 ‖ 都新聞の腑抜けさ笑はる
官僚の思ひ上つた態度に非難 …… 五（九）
一、「産業報告聯盟」内部に ‖ 左右両系統の對立を招来
人線派擁護機関となる …… 六（一）

‖ 輸入制限の範圍擴大のため ‖

代用品発明奨励機関生れん

政府は発明奨励局民間では財團法人

政府は今次事変が愈々第三段階に入り之に對應すべき銃後整備の完璧を期するため爲替管理は勿論、輸入制限の範圍拡大、更に最近は物資動員計畫の急速実施を強行しつゝあるが綿製品の製造販賣禁止以来、國民は一層事変の重大性を知り、戒心を深めつゝあるが、これについて消費節約の代用品の問題について慎重に考慮する向多く、商工省に於ては代用品使用奨励のため販賣價格の最高標準を決定、或は配給統制等を行つてゐる機であるが、財界方面でもこの趣旨を一層徹底せしむべく輸入禁止をなし得ざる例へばキルクの如きものに對し、代用品の發明を奨励するため協議されてゐると言はれてゐる。欧洲戰爭當時独逸は経済封鎖を受けたため、止むを得ず多數の代用品の發明をなし、今日化学工業の先驅をなしたに鑑み、我が國もこの機会を利用して、例へば將来経済封鎖を受けても何等支障なき様、又一面世界

の化学工業をリードすべき一石二鳥の代用品発明奨励の方策が政府、財界方面に考慮されてゐる様であるから、政府に於ては発明奨励局、民間に於ては財團法人の発明奨励機関がされるのではないかと見られてゐる。

‖ 新ブレントラスト結成のため ‖

政治局、書記局設置されん

内閣三長官の更迭は必至

近衛首相は事変新段階に對應すべき施設につき萬全を期しつゝあるが、かねて計畫してゐた近衛公中心のブレントラスト糾合を如何なる方法で行ふかについて熟慮されてゐたが、愈々内閣直属に政治局、或は書記局を設置、こゝに各層の少層有為の士を網羅せんとするらしいが、愛國陣営方面からも人材が参加する模様で、新人デオロギーの発見と共に各方面との政治的折衝も圓滑に行はるべく多大の期待が持たれてゐる。これによつて滋企劃院總裁、船田法制局長官と共に書記官長の更迭が

豫想されて来たが一説には風見書記官長が企劃院に入るのではないかと言はれてゐる。

‖ 児玉總裁の反對運動緩和要望 ‖

中支の情勢と氏のアイデア一変に

中支振興会社の總裁に決定した児玉謙次氏が、事変前経済視察團を組織團長として渡支し、蔣介石と会見、皈朝後政府に大陸政策について種々進言したその行動が愛國陣営の的となり、中支会社の總裁就任の反對運動が起されてゐる模様であるが財界方面に事変前と後とは總ての情勢が一変して居り、児玉氏自身のアイデアも之に對應すべく一変して居り、しかも中支は各國との関係上、事業経営には最も困難視されてゐるため、この錯雑した情勢を乗り越え、國家のため挺身する氏の決心は之を充分買ふべきであると言ふ意見があらはれ、氏の總裁就任反對運動の緩和が要望されて来た。

＝参議補充、内閣参與を置き＝
近衛首相外廓擴充寡頭政治を布かん

近衛首相は内閣強化、戦時態勢の整備のため内閣書記官長の下に内閣参與（假称）を置き各層、各種機関から少壮氣鋭の士を集め新ブレントラストを造り之を内閣政治局、或は書記局と称し、戦時行政の圓滑を圖る方針であるが、尚事実上の行政機構改革のため藏、商、外、拓を池田、宇垣両氏に兼攝せしめた如く有馬農相勇退の際は末次内相に之を兼攝せしめるであらうと言はれてゐる。又逓相と鉄相を兼攝せしめ事実上の交通相たらしめる案は永井、中島両氏が政民両党を代表して入閣した関係上実行困難と見られてゐるが、近衛首相は参議の補充と共に外廓の強化拡大を圖つて、内部的には寡頭政治を行はんとする意向であるらしい。

＝軍部の人的要素拡充のため＝
豫備役将星の復活論
殖民地長官に現役武官制

軍部の人的要素拡充のため豫備将星の現役復活論が現はれ、真崎、柳川、小畑（敏四郎）将軍の復活が導かれ、尚殖民地長官の現役制をも導かれるに至つてゐるが、その出根は、小池、高岡両代議士が主宰する「南方懇談会」辺りの宣傳らしく、その辯によると陸軍の大陸政策、海軍の南進論は不可分の関係にあり、特に南進政策は多く閑却され勝であるため、小林總督の現役復帰を進言し之を動機に南洋長官を海軍より、朝鮮、樺太を陸軍より、現役の武官を長官に任命すべしと言ふのであり、之に早川鐵治、松江春次氏等の南方経済派と愛國陣営の合流による軍政内閣要望の聲が前記の如き噂となつて現はれ、今尚強硬に主張してゐるらしく、右の中柳川将軍の復活は実現の可能充分であると言ふ噂である。

＝独は建川、伊は小林、米は野村の各将軍＝
大公使の大異動に宇垣人事期待さる
外務次官は谷、支那公使有力

宇垣外相の手腕は最近行はれんとする外務省人事の大異動によつて テストされるものとして期待されてゐるが、大公使の自由任命を利用して部外から人材を抜擢を適所に置く方針らしく、近く行はれる大公使の更迭に當つて独逸大使には建川陸軍中將、伊太利には小林省三郎海軍中將、米國は野村学習院長に交渉するものと見られてゐる。尚ほ支那には石原莞爾將軍を當てると言ふ噂があるが、これは一時石原少將を外務大臣にと言ふ某方面の希望の反映に過ぎないと見られてゐる又白鳥敏夫氏の外務次官説はやゝ薄らぎ、同氏は暫らく現地に活躍するであらうと見られ松谷公使の次官説が有力となつて来た。

新國策樹立機関

東亜研究所(政府に設置さるべき民間國策機関を補助指導

政府に於ては對支態勢整備のため、新に東亜研究所(假名)を設置、建設途上にある新支那との融和連絡を圖り、政治、経済、文化、自然科学の領域に亘及ぶ調査機関たらしめ企劃院と並行して東亜の新國策樹立機関となす筈であるが、一方現在の企劃院を強化擴大して、從来内閣よりの命により調査企劃をなしておたものを、積極的に國策を樹立、政府に之を施行せしむる權限ある機関たらしめ、枢密院と並んで政府の目附役たらしめんとする案もあり、近く何れかに決定を見るものと見られてゐる。尚東亜研究所設置の場合は民間にある國策討究機関に補助を與へ、之を統合指導すると言はれてゐる。これに伴ひ近く徹底した行政機構の改革が行はれなと言はれてゐるが其が時期は本月末か来月初めであらうと見られてゐる。

政友会の新國策樹立機関

東亜安定國策研究会愈々動かん

結局原口初太郎氏が私案を実行

民政党、小会派を初め民間に於て新國策樹立機関を設け各々調査研究となしてゐ

るが、總裁公選問題で紛糾した政友会は未だその餘燼治まらず東亜安定國策研究会は芳沢謙吉氏を会長として形式的に発会式を挙げた丈けで、党情不安定のため決定的な方針は纏らず今日に及んでゐるが、最近現地視察者の目撃談を聞いて副会長原口初太郎氏の私案を基礎に東亜安定國策研究会を名実共に充実させんと意氣込んでゐるらしい。

‖ 水害による農村救済策と ‖

戦時態勢強化のため

戦局の進展と共に愈々徹底的に暴支膺懲を行ひ、蔣政権を爆撃すべしと言ふ議論が盛になり、このために臨時議会を召集し之に對應すべき軍費を増額すべしと言ふ意見もあり、昨今の暴雨により農村の被害が甚大なるに鑑み政党方面では農村救済方策樹立のため臨時議会召集説が高まりつゝあり、結局豫算編成期を前に臨時議会が召集される空氣が濃厚になつて来た。

‖ 支那両政権の急速合流に代へ ‖

独立都市、産業別農村の自治制

セネター制の上に行政廳設置案

北支と中止では氣候、風土、習慣等著しき相異あり根本問題としては経済的、人種的に相容れざる處あり北支、中止両政権の合流は急速に之を行はざるを可とする意見が多く聯邦制採用を主張するものもあるが、又一案としては、天津、北京、上海青島等の如き都市は、独立自治都市としてセネター制（元老院）を取り、地方農村は産業別に統制して、共同組合組織として之によつて産業別の行政區分をなし、同じく元老制を布いてその上に之を統轄する行政廳を置くべしと言ふ意見が抬頭してゐる模様であるが、一般的には支那の特殊事情を無視した日本人的潔癖から無二無二豫定通りの方針を強行する事は戒心すべきであると言ふ見方が多い様である。

‖ 王克敏、唐紹儀、陣中孚の活躍 ‖

大和クラブ意見を表明せん

對支根本策に大川、石原氏等奔命

徳川義親、大川周明、石原廣一郎氏等の大和クラブは愈々積極的に今後の政局に重大なる任務を遂行すべく藤田勇氏等と協力、内政問題としては農村中心の革新政党運動並に農村更生問題、對外的には大陸、海洋の両政策を討究すると見られてゐるが、特に注目すべき問題は支那新政権を如何にすべきかと言ふ事で、この問題の解決によつて今後の對支根本方針が決定されると言はれてゐる。即ち王克敏氏の主張と、唐紹儀、陣中孚氏等の意見の何れを採用するかと言ふ事が關心事であるが、之に對する是非について大川、石原氏は近く意見を発表するであらうと見られ、今後の大和クラブの動向は注目されてゐる。

聖戰第三階段に對應

本月上旬連絡会議開かれん

第二回の五相会議、第一回の内政会議を開催し内閣強化後の近衛内閣は、聖戰第三階段に於ける萬全の策を練りつゝあるが、尚近く大本営と政府との連絡会議が開催される模様で、四日の要路大官の往来は全く之の打合せのためであると言はれてゐるが、この連絡会議はおそく共本月上旬迄に開かれるものと見られてゐる。

‖ 小資本家苦悶象徴の一場面 ‖

鮭鱒の罐詰は大財閥から輸出決定

大藏省では来る十五日より、鮭鱒等の罐詰を輸出するには、三井、三菱の手を経て行ふ事を発令した模様であるが、之は従来の小資本の貿易商が、不合格品を混入したり、或はストックして價格の吊り上げを策したりする事あるに鑑み、爲替水準の堅持、對外信用の維持等の建前から各方面の反對あるを見越して決行したもので

あるが、この方面は漸次他の輸出品に迄及ぶ方針下あるから中小貿易商の打撃は甚大であると言はれてゐる。これに對し自衛の立場から小資本輸出商は自肅自戒國策信義を重んじ、國策の線に沿ひ奉公すべきたにより從來通りの方法により輸出を許可せられたしと言ふ請願をなすものと見られてゐるが、これも亦小資本家の苦悶象徴の一場面である。

‖ 東洋に於ける英國の態度 ‖

親英派も再認識

對支政策上喜ぶべき傾向

從來英國の東洋人に對する考は、人種的な優越感からこれを奴隷視し、これに苛斂誅求を加へ搾取して今日の大をなして居り、支那も亦印度に於けると同様の地位に置かんと畫策するに對し同じ東洋人である日本の勃興によりこの計畫が挫折せんとするのみか、印度に於ける英國の地位迄に脅威を受けると言ふのが、今日英國の

對支援助のあがきであるが、過日國際反共聯盟等愛國陣営、有志学生團が渡川武治氏等に引率されて英國大使館を訪れ、決議文を手交した事が傳つて以來英國に於ける認識が改められ從來の親英派も多少態度を変へさるを得なくなつた模様であるが親英派が大体上層階級に多い関係から、今後の對支政策上この喜ぶべき傾向と見てゐる。

‖ オリムピック開催不能 ‖

ホテル業者骨董商對策協議

愛國陣営等ではオリムピック開催について反對を説へてゐたが、愈々政府もこれと踏々同様の意見を持つ様になつた。今次事変が支那國支那を相手にしての戰であると言ふ意味から戰勝を疑はぬため、未曾有の大戰にも不拘國民の緊張を弛き浮華輕佻に陷ちてゐる際オリムピック、萬國博覽会等を開催するは不可なりとなすに至り、近くこの意志表示をなす模様であるが之に對しオリムピック、萬國博覽会をめて処

んだホテル業者、骨董商は萬一の事を憂へ之が對策について猛運動を開始した模様である。

‖ 末次、秋山両氏の確執解消 ‖

内相の地位愈々安定

さきに末次内相に對し辞任説が立ち既に後任の下馬評迄もあらはれたが、近衛首相との朝飯の会を初め荒木文相との二相会議、内政会議等にも出席する事になり依然として現内閣に重きをなしてゐるが、最近秋山定輔、秋田清氏等の所謂「翹町」一派との仲直りが出来て内相の地位は愈々安定したと言はれてゐる。抑々末次内相と、「翹町」一派との確執は内相就任當初の安井人事とも言ふべき内務省内の大異動に初まり、其の後は双方の所謂取巻によつて相互の悪宣傳が行はれ遂に末次、秋山両氏が互に悪感情を抱くに至り、一つは内相辞任説、一つは秋山氏の進言は近衛首相が之を忌避する等と放送され両雄傷くの感があつたが最近某氏の斡旋により末次内相の秋山氏訪問により一切が水に流され交友が旧に復したと言はれてゐる。因に末次内相を近衛公に推薦し、海軍大將から参議に、参議から内相へと進言したのは秋山氏である事は周知の事実である。

‖ 池田藏、商相の病状如何では ‖

藏相専任となり商相は結城氏か池田氏の辞任絶對になし

池田藏相の病状は世評の如く憂慮される状態ではないが、老齢にしてしかも非常難局の藏相、商相の兼攝は相當の負擔らしく、これがため近衛首相の主張である行政機構改革の事実上の顯現とも言ふべき両相兼攝を専任にする事は面目上面白からぬとあつて首相もこれについて相當苦慮してゐる模様であるが、噂の如く池田氏が辞任する事は絶對にあり得ない。併し池田氏の病状如何では止むを得ず藏相専任となし、商相の後任には一身同体とも言ふべき日銀總裁の結城豊太郎氏が襲ふ事にな

れば池田氏の藏、商兼攝と結果に於ては変りないと言はれてゐる。

‖ 愛國陣営、財閥、政党 ‖

漢口攻略後の政局に期待

目今戰勝第一主義の愛國陣営は全く鳴りを鎭め、政局より後退したかに見え、財界に於ては大財閥は各々情報を持ち寄り会合協議をなしつゝあるがこれとても何等の意志表示をなさないのは、全く漢口陥落を待機してゐるためであり、漢口攻略後に於て初めて大なる動きがあるべく豫想しその時の情勢によつて對策を練るべきであるとなし、双方とも情報の蒐集に奔命中で、それ迄は戰局の推移を凝視するに止るものと見られてゐる。一方政党方面にも政友会總裁公選問題の解決後は特に活潑な動きもなく政民両党共これまた待機の姿勢である。

‖ 日満支経済ブロック結成 ‖

政府、近く具体的着手か

三國代表の東京招集説右頭

政府は、長期戰に對應すべく改造後は更に積極的に乘出し、これに伴つて國力の充実を計るべく協議中であつたところ、愈々日満支三國の経済ブロツ結成の実現に邁進するため、第一着手として近く東京に三國経済代表大會を開催するのではないかと政界方面で傳へられて居り、我が政界でもこれに非常な期待をつないでゐる。即ち支那事変は既に第三期に入つたものゝ、未だ前途樂觀を許さゞる情報にあり、特に武力戰と共に経済戰が深刻化してゐるので、長期戰も結局は彼我経済力の優劣如何によつて勝敗が岐れる段階にある。このため日満支（朝鮮・北、中支を加へた三國）の完全なる経済提携を必要とすることは、今や議論の餘地なく実行の時代に入つて居り、これが実現に如何なる方策を取るべきかは、重大問題として研究されつゝあるので、先づ右各國官民の経済代表者を招き、三國を打つて一丸とする経済

政策の確立につき具体的協議をなすべきであるとの要望が抬頭しつゝあり、仍つて政府も愈々これが実現に第一歩を踏み出すであらうと傳へられてゐる。

‖ 鳩山氏の離党勧告論起る ‖

總裁問題のもつれ愈々深刻

政友会總裁決定問題は現状維持と云ふことで一應は納つたけれども、中島派を始め党の長老の間では、飽くまで議會前に總裁を決定する意向を有してゐる。即ち鳩山派が公選を主張し乍ら投票日の近づくにつれ自派に不利なると知つて休戦ラッパを吹奏したことは、政友会を無統制となし自然分裂を待つといふ所謂待機主義を取つたものであるとなし、その作戦の裏を掻く意味からも断乎總裁を決定し、然らざる場合は鳩山氏に對して、離党を勧告すべきであるとの聲が抬頭しつゝあり、問題をめぐつて今や党内に鳩山氏の除名強硬論迄発展せんとしつゝあるは注目される。

‖ 南進國策に朝野の大関心 ‖

飛躍的、具体化運動起る

有志が集り南方協議会を結成

第三期戦に入るや、俄然一部から大陸政策と併行して南方國策の断乎確立論が抬頭して来たことは注目さるるが、海軍部内では、此衝首相の意圖する行政機構の改革断行を好機として、南進政策の具体化を急がんとしてゐると傳へられ、一方これと呼應して民間側よりも最近活発なる此の運動が起りつゝある。即ち南進國策の遂行は、大陸政策との関係に於て恰も車の両輪の如き不可分なる建前にあるに関らず今日まで兎角南方政策は政界より閑却されてゐた憾みがあると云ふ点から、去る七十三議会頃より小池代議士等は南進論を強調し運動を續けて来た結果、漸く最近に至つて南方協議会（仮称）の実現を見る機運に到達し、すでにそのメムバーには商工、井坂、赤松、江藤、野中、青木の各代議士及び研究会有志を初め公正会の井田磐楠、菊地武夫中将其の他軍部関係者、南洋興発の松井春生、南方産業会社の早川

鐵治氏等の顔觸れが挙げられてゐる。愈よこれが結成に當つては更に貴衆両院議員を始め民間有志多数の参加が見込まれて居り、事変の終局を前にして、今まで政界に忘られ掛けてゐた南進國策が、飛躍的に朝野の関心を占むる事となるであらうと期待されてゐる。

‖ 愛國陣営に佛ソ膺懲論 ‖

実力行使の強硬主張起る

一部強露病患者の認識是正

佛國の印度支那兵備増強に對し、我が愛國陣営方面では海南島の全面的占領、廣東の即時攻略を主張してゐる。即ちこれにより速に蔣政権の息の根を止め、以て支那事変を解決すべきでこれがため佛國と衝突するもまた止むを得ずとなしてゐる。即ち今次聖戰の目的は、実に東洋から共産主義を全面的に掃蕩するにあり、蔣政権を根底から撃滅し、兵を回らして外蒙及び満洲國境の戰備を固め、ソ聯の不法行為に對して実力を発動すべきであるといふにあり、最近のリユシコフ大將の越境投降事件から、朝野一部の強露病者の認識が是正されつゝあるは注目に値する。

‖ 各省の実質的統合実現 ‖

行政機構の改革漸次進捗

支那事変を契機として各省の独立性が稀薄となり、更に長期戰に對應して各省の関聯性が加はり、行政機構改革の必然性が齎らされるに至つた。即ち五相会議の設置と大藏、商工両省及び外務、拓務両省の実質的統合がこれで、今後各省の統合が行はれる模様で、これと同時にその名称を変更されるものと見られてゐる。即ち内政省（内務、農林両省）外務省（外務、拓務両省）経濟省（大藏、商工両省）交通省（逓信、鐵道両省）早晩実現される可能性あるものとして研究担上にある模様である。

‖ 暫定的に中央機関急設 ‖

總裁は陸軍大臣が兼任

大使は軍司令官の兼任に内定

對支中央機関設置問題に関して、現地方面では其の急設を要望してゐることは事実であるが、政府も改造後愈々對支政策に積極的に乗出す模様で、一部には対支事務局長官とする、對支事務局などと傳へられてゐる。然し政府は事変中でもあり、取り敢へず暫定的な中央機関を急設する意向が強く、今回東上した土肥原中将の意見等も參考として聽取する模様である。即ち北支中支両会社も今秋頃より事業を開始する筈であり、これに伴つて中央機関も當然必要となる譯だが、司政機関の長官は結局今の對滿事務局と同じく、陸相が兼任といふ事に落ちつくもの と見られ、更に支那大使は軍司令官の兼任となる。而して支那は、滿洲國とは異つて第三國の関係が複雑微妙な所から漸進的に特別公使を置くこととなる模様であるが、何れにせよ今回の中央機関は、一時的なものであり事変終結後には當然大出先

機関の設置を見るものと傳へられて居る。

‖ 萬博、オリムピック ‖

結局中止を免れず

今や平和事業の意義喪失

萬國博開催中止意見が抬頭するや、これと関聯しオリムピック東京大会の中止意見が、革新陣営方面に行はれ盛行が注目されてゐることに対し軍部方面では、賛否を表明してゐないけれども、大体中止意見に賛成の模様であり、政府部内にもこの際萬博、オリムピック両大会の中止を妥當とする意見が有力化しつゝある。即ち萬博は皇紀二千六百年を記念する國家的事業であるが、我が商品の世界的進出を目指す平和事業であつて、到底事変下の情勢にそぐはず英、米、佛各國の出品も見合せとなる模様が濃厚の為想より遥かに減少するものと見られるので、萬博開催の意義の大半が喪失するといふにあり、また、オリムピック大会も同様、各

大な施設費の消耗とスパイ暗躍の機會となる以外、何物も得るところなしといふにあり、兩大會の中止は必死と見られてゐる。

‖ 現地連絡會議と新設か ‖

日支間の完全なる提携を圖る

事變以來の對支工作は豫定通り着々として進められてゐるが、事變よりすでに一ヶ年を經過して居り、戰後の復活に付いても緊急を要するので、政府では目下北支中支兩會社及び對支中央機關の設置を急いでゐる。而して東亞百年の大計を樹立するには、中央と現地の緊密なる連絡を保つことは勿論、また外交の一元化を圖る上に於ても現地連絡會議の設置を見るものと傳へられて居る。即ち軍部及び外務省關係を始め、北中南政府の意見の一致を圖るため、定期的に現地に於て連絡會議をなした上、中央政府に對して會議の成果を進言し、以て日支兩國の完全なる提携を計らんとするものであると傳へられる。

‖ 企劃院を國務員に改組 ‖

內閣上位の國策機關とす

樞密院と對等の地位に昇格

近衛首相の抱懷する行政機構の改革に關聯し、企劃院の機構擴大強化を計るとの說が有力に傳へられてゐる。即ち企劃院は、前內閣調査局當時より內閣とは別個の立場に於て、國策樹立の基礎的調査をなす建前を執つてゐたが、當初の目的より相反する結果を見る事が多かつたので、其の後二回の改組をなし今日に至つてゐる。而も現在に於ても、必ずしも豫期に沿ふが如き成果はあげられて居らぬので、斷乎として企劃院を改革すべしとの意見が指頭、谷方面から近衛首相に進言して來て居る。仍つて首相も右改革意見に傾聽し其の決意を堅めてゐると傳へられるが、改革意見の要旨としては企劃院を國務院と改め、當初の目的通り內閣とは全く別個の存在たらしめ、獨自の國策樹立に邁進せしむべしとするものであり、現在の如く單に內閣案を再檢討する機關に過ぎないといふ事は、全く無意味であると云ふ點に出發

して居る。結局一方に枢密院があり、一方には國務院があり、其の下に内閣が存在すると云ふことになる譯であつて、企劃院の改革は相當重大視されてゐる。

☆ 谷公使悄氣る

例の小幡、芳沢両老は、日曜の日に國立の別荘に宇垣外相を訪ね、谷公使の次官拔擢を極力進展したが、外相がウンと云はなかつたらしく、谷公使も愈々今明日中に任する事になつたさうな。

‖ 外務次官問題を繞つて ‖

幣原ブロックの暗躍

欧米依存外交の再建を策す

去る三日宇垣外相を國立の別邸に小幡、芳沢両氏が秘密に訪問したことは政界各方面に多大のセンセイションを與へて居る模様であるが、最近外務次官更迭問題を繞つて幣原ブロックの活躍が外務省内外に相當傳へられて居る。即ち幣原欧米依存外交政策は近衛内閣の成立によつて重要視されず、特に支那事変の発生は幣原外交の徹底的没落に導つた結果となつたものゝ事変も漸く第三期戦に入り幣原外交の必要があると云ふ事を理由に次官問題によつて幣原外交陣営を死守せんとする模様であり、今や外務次官更迭は唯単なる人事問題にあらずして外務省今後の方針に多大な関係を有することゝなり宇垣外相も頗る困難なる立場に置かれ苦慮してゐると云はれて居るが、事変を繞つて外交関係は益々複雑化して行く今日幣原ブロックの動きは重大視されるが時勢は果して之を容れるか疑問であるとせらる。

‖ 両政権合流は ‖

多少遅延の形勢

陸相の「長期建設」が示唆

北支臨時政府と中支維新政府の合流は津浦線の開通後九月中には実現すると傳へ

られてゐたが現地の客觀的状勢から遅延する模様である。即ち合流と同時に決定すべき新政府の所在地、主席以下の顔觸れ等につき両政府間に於て完全なる意志の疎通が先決問題とされこの點について尚研究の餘地ありとされてゐること、両地域内に於ける肅正工作――敗残兵、共産分子の掃蕩及び列國の認識是正の徹底をはかることが眼目とされてゐる。即ち板垣陸相の長期建設意見も両政府合流につき頗る示唆に富むものと見られ漢口、廣東の攻略戰後に持越されるのではないかと見られてゐる。

‖ 社会情勢に伴ふて ‖

社大党改組から解党へ

今秋安部氏引退必至

社大党が執行部を設け麻生、平野、三輪、浅沼四氏でこれを固め亀井貫一郎氏が背後にあつて同部のカギを握つたことは従来の党首中心から執行部中心主義に移行安部党首引退が実現するものと見られて居る。即ち社大党が今事変を契機として一大轉向を示した事は衆知の事実であるが安部現党首の在任は中央、地方を通し轉向非轉向組の乱数の原因にもなつてをるので亀井氏執行部の浅沼、平野両氏等はひそかに安部党首の引退を希望してゐると傳へられ、安部氏自身も襲撃事件以来辞任の意志を抱いてゐる模様であり今週中には引退とこれに伴ふ新党首推戴党名の変更等が行はれるものと見られてゐるが都市中産階級の支持が今後も續くか否か、河野、杉山氏一派が如何なる行動に出るか注目されるが、地方党員の脱党者は相當数に上るのではないかと見られるので、改組は解党へ、更に解消へ発展する危機も包蔵してゐると見られてゐる。

‖ 八、九日頃に連絡会議 ‖

愈々懸案解決の第一歩へ

政戦両局に新展開を期待

近衛内閣改造後に於ける新政策の実施方針に関して、第二回五相会議に引續き第一次内政会議を開催し、第三期戰段階に於ける萬全の策を取り頗る愼重を期して居るが、此の新段階に対する大本営及び内閣との連絡会議を愈々来る八、九日頃に開催する段取りを進めて居る。即ち去る四日の政府軍部及び宮中方面各要人の慌しき動きは、これが打合せのためと傳へられ、また五相会議、内政會議に於て議決せる對内外諸政策に對する具体策を大本営の連絡会議に提出、これが実施遂行をなすものと豫想されるが、何れにしても次回の連絡会議の結果は、對内外的に相當の変化をもたらし、新展開を期待されるので、各方面より頗る重大視されてゐる。

‖ 両政権の合流に代へて ‖

聯邦制採用の促進論招頭

北中支の特殊事情を織込んで

此支臨時政府と中支維新政府の合流問題は、最近頗る低調となつてゐるが、これに伴ひ聯邦制採用意見が一部に行はれ注目されてゐる。これによると両政府を急速に合流せしめんとするは、あまりに日本人的潔癖性によるものであり、北支と中支の間には人種的地域的また経済的にも非常な相異があるから、最も自然の方法即ち各地域に於て政治を行はしめ常制、軍事、外交を切離して聯邦代表会議の機関に於て行はんとするもので両政府を現状のまゝとし、聯邦会議代表として有力人物若干名を任命すべしといふにある。

‖ 大和倶楽部、積極運動へ ‖

新官僚運動と微妙な関係

全國青年層へ働き掛けん

近衛内閣の成立、支那事変の発生等によつて急速に各層に亘つて招頭しつゝある革新陣営の統一、並に革新政党の母胎の役割を擔當すべき可能性ある大和倶楽部では、徳川義親、大川周明、石原廣一郎氏等の首脳部が中心となり、今後の政局に重

大なる任務を遂行すべく、今日迄の消極的態度を脱して愈よ積極行動に移る決取りを進め、近く麹町区内幸町附近に事務所を設け、運動第一歩を踏み出す模様である

今後協議される中心問題は

(一) 農村更生（出征に関する對策）(二) 青年運動 (三) 革新政党の実現 (四) 大陸並に海洋政策（支那及び南洋）等の問題が取上げられるものと見られ、特に注目されるものは、最近新宮城の吉田、後藤、唐沢、栗原氏等が中心となつて地方青年層に働き掛けて居る。所謂宮城運動と、大和民族部の動きは今後の政局に如何なる因果関係をもつて進められるか興味をもつて迎へられてゐる。

二 新旧財閥及び第三國の投資領域を明確に區分

北支開発、中支振興両会社を通じ両地域に投下さるべき資本の配置については首相、外相、陸相、大谷北開、児玉中振両総裁の間に於て慎重協議中であるが、旧財閥の利益壟断を防ぐといふ既定原則を堅持しつゝ、旧北支には三井、三菱、住友、大倉等の旧財閥の進出を認め、これに米國資本を参加せしめる意向と見られ、また米國財閥方面でもこれを希望してゐるし傳へられてゐるが、これに對し鮎川、森、理研等新興財閥を中支へ振向ける方針を決定し、これに満鉄、伊方面の参加を適當に配分するもの、模様である。

三 對支援助の理由は奈何

宇垣外相、英國大使を詰問

英政府根拠、回答を保留す

英國の蒋政権援助に就ては、日本が非常な注視を払ひつゝあるのであるが、宇垣外相は最近、駐日英大使の来訪を求め、「英國は蒋介石が日本に勝つと思つてゐるか」と端的率直に質問した處、英大使は「然りず」と答へたので、外相は重ねて「然らば何の目的を以て蒋介石を援助するのか」と英國政府の態度につき、具体的事実

を指摘したと傳へらる。これには荒石の英大使も返答に窮し、本國に請訓する旨を答へて辞去し、直ちにこの会見内容を英政府に打電したが、本國から折返し返電あり「日支問題に關れることは對内的に思はぬ利敵を與へ、政府が窮地に陷る虞れがあるから、八月の暑休まで回答を保留すべし」にて、何等回訓を與へなかつたとの説が取沙汰されてゐる。これによれば英國當會が暑休に入れば、蔣介石援助に對する英國今後の方針が明確になるものとして注目され、わが國の對英方針に、重大ポイントが齎らされるのではないかと見られてゐる。

‖ 皮革統制と水平社關係 ‖

有馬農相、板挟みの苦境

長期戰に對する政府の物資統制は、各方面に相當の影響を與へてゐるが、特に皮革統制によつて全國水平社關係では多大の打撃を受ける事になつたので、水平社側から關係當局に強烈な陳情があり、當局としてもこれが對策には愼重を要するものありとし、目下厚生省、内務省に於て協議中である。而して全國水平社方面の主張も、目下の所では完全に一致して居らず、早脫關係當局の具体案が作成されゝば、自から衆論も收一する譯であるが、水平社側では、從來の緣故から有馬農相を通じて種々進言してゐるので、政府も此の取扱ひには相當愼重なる態度を取ることは勿論であるが、政府と水平社の板挟みにある有馬農相の動きは頗る注目されてゐる。

‖ 宅野氏、安岡氏を相手に ‖

反軍不敬の名に於て告発

愛國陳營に深刻な衝撃起る

川石川區原町酒井伯爵邸内の金澤學院安岡正篤氏は、去る四日の東京日々新聞紙上「事変一週年に際して」の題下に「聖戰に利は禁物、支那人を優遇せしめよ」として日頃抱懷する意見を發表したが、其の内容は不敬反軍に亘るものとして、宅野田次氏は大に憤激し、安岡氏を相手取つて六日東京地方檢事局へ、不敬罪の名により

告発を提起したと傳へらる。即ち同文章の冒頭に於て神宮皇后の三韓征伐の御事蹟を引用勝手不遜なる解釋を下したはかりか、一貫して不敬、反軍的思想を鼓吹してゐるといふにあり、宅野氏は飽くまで安岡氏のインチキを暴露すると敷圖いてゐる模様だが、愛國陣営では其の成行きを頗る注目してゐる。

‖ 政府系官僚の「十日會」 ‖

現状維持陣営の作戰本部

各省人事にも裏面で暗躍

日支事件一週年記念に當つて、各團体に於ては意義ある会合を開いてゐる模様であるが、特に政界に於て動向を注目されてゐる團体に「十日會」がある。同会は民政党関係の貴衆両議員若槻男、伊沢、町田、太田氏等を中心として有力会員三十餘名を擁してゐるが、彼等は毎月十日に定期会合して、時局問題に関する研究を續けて居る。而も相當有力なるメンバーを擁しながら、会合の内容は絶對の秘密となつて居るので、外部から種々憶測がなされ、注目を惹いてゐる譯であるが、最近の実例としても例の内務省関係の異動人事問題を始め、各省官僚の人事問題等にも動いて居り、現状維持派の作戰本部と注視されてゐる。

‖ 各種の支障不便に鑑み ‖

情勢蒐集機関愈々独立か

外務関係を除く一切の統合

長期戰に對する國内各地方の情勢を知る必要があると同時に、各政治團体の動き又はその主張等に就いて調査檢討をなすは最も緊要とされてゐるので、これが調査に當つて居る内務省関係の警察情報網の活躍は頗る活潑を極めてゐる、然し乍ら現在の機構及び監督命令系統を以てしては、其の実情を調査するに相當無理があり、且つ直接調査の衝に當る向に對して、民間側でも後難を慮はかるためか積極的に協力することを避ける傾向が看取され、甚だ遺憾とされてゐる。更に最も不便とされ

るのは、その報告が上層部に達するまでは相當の時間と手續きを要する事で、この状態を改善するためには内閣直屬の独立情報局を新設するに若かずとなす聲が關係各省内に抬頭しつゝある。即ち現在の内閣情報部は無用の長物であるから、これに警視廳情報課を合流せしめ、独立局たらしめんとするものであり軍部方面も賛意を表して居る模様であるので社会情勢の複雑化に伴つて愈々実現を見るべく企劃院に於て明年豫算に所要経費を計上すべく研究中と傳へられるが、外務省情報部系統に属するものはこれに含まれない模様である。

‖ 余漢謀、蔣の下野を條件に ‖

我が軍事行動中止方を哀願

老獪なる英國の策謀の現はれ

廣東警備司令余漢謀は、最近或る筋を辿つて我方へ蔣介石の救命及び其の下野を條件として廣東の攻略と工ッ漢線の爆撃を中止され度しと哀願して来たとの説がある。これは一種の平和工作と見られ、その背後に老獪なる英國の手が動いてゐることが看取される。即ち蔣の下野は既にその時期を失して居り、たとへ蔣に下野の意志があつても客観的状勢はそれを許さぬことは明かであつて、俄りに下野したとするも我方の政権打倒方針には毫末も変化を期待されざるに拘らず、英國は常套手段として余漢謀をして我方の眞意を探らんとするものであり、彼一流の對日打診とも見らるので、現地方面ではこの點に関し國内輿論の徹底的統一と、列國をして乘せしめざる様國民の自戒を要望してゐると傳へられてゐる。

‖ 英國の和平提唱好手段 ‖

大陸派、成行を嚴重監視

主張の根據は悉く利己姑息

英國筋からの放送は、日支和平の可能性ありとて巧妙且つ深刻なる方法により宣傳これ努めてゐると傳へられ、我方としても大に警戒を要するとされてゐるが、ノギ

リス官邊の唱へる和平論は左の諸點に根據があり、結局自國の權益擁護と、体面保持の上から割出された老獪なる利己的外交手段に過ぎぬものと觀測される。即ち

一、日本軍の漢口攻略に依つて英國の全支權益は根底から震撼さる。

二、これによつてリースロス經濟工作は全く無力化し、法幣制が全面的に崩壞する

三、海南島、廣東攻略後に於ける日本の南信政策強化によつて、印度、濠洲等に領土的危機を招來する。

即ち以上の理由は、悉く利己的個人主義的主張を一歩も出ざるものであり、姑息極まるものであつて、眞の日支共存、東洋永遠の平和確立は斷じて期待されぬため、國内革新陣営及び大陸派は英國の策動を飽くまで排擊すべく監視警戒に力めてゐる。

‖ 平生北支顧問辭任せん ‖

財界からも責任を問はる

北支派遣軍最高顧問平生釟三郎氏は、一時健康を害して歸國中、現地の經濟開発方針に關して要路者に説明をなした際、北支龍煙鉱山採掘問題に關して同氏は同鉱山は鉱石に乏しく且つ鉱質不良であり有望ならずと斷言し、當業者に非常な失望を與へたと云はれてゐる。然るに其後研究したる結果によれば、同鉱山は平生氏の言明と全く正反對で、頗る有望視されるに至り、これがため平生氏の信用責任問題が關係方面で取沙汰されるに至り、結局同氏は近く顧問を辭任するであらうと傳へられてゐる。

‖ 宋哲元、李宗仁連名で ‖

某長老へ和平斡旋を嘆願

時期すでに晩れたりと一蹴さる

確実なる筋よりの情報によれば、宋哲元、李宗仁両名は去る五日連名を以て我が在野某長老に信書を寄せ、我政府に對し和平解決の斡旋方を懇請し來つたが、幾は時期すでに遅しとの返書を送つてこれを一蹴したといふ。宋、李の信書によれば、

支那民衆は今や塗炭の苦しみを受け、戦の目的を解せずして戦線に狩り出されるも
う多く軍民共に戦意を喪ひつゝあり、彼等の希望する所は蒋介石の下野と国民政府
改組を條件に、和平を請ふといふにある。これは既に別條に述べてある通り、余漢
謀、一説に孔祥熙）が英國の手先となつた和平工作とは勤を異にしてゐる模様で、
名將級が戦意を喪失し、和平を待望する空氣が濃化してゐる證左と見られてゐる。
但し余、宋、李いづれも蒋介石の下野、即ち勘命を條件としてゐる點が注目され、
未だ我方の決意に對し認識に欠くる所があり、我が政府はかゝる和平工作に對し、
今後も一貫の價値なきものとして既定方針により邁進すると傳へられてゐる。

‖ 民主々義國家に對抗し ‖

日独伊三國防共協定は、昭和十六年末満了のわけであるが、今後の國際情勢の見
透しは同協定を一層必要とするのみか、更に防共國家群を結成にまで発展せんとす
る氣運が強く、ポーランド、シヤム、ブラジルの三國は近く参加するのではないか
と見られて居り、チリー、メキシコ、サドバドル、ハンガリー等反共小國家群も將
来の参加が注目されその他欧米を通じ参加せざるまでも親防共國として注目される
ものは頗る多く、ソ聯及び英、佛、米國等一連の民主々義國家に對し一大勢力の結
成が豫見されてゐる。

‖ 宇垣外相、優柔を許さず ‖

省内外に漸く惡氣流醸醸

日和見的態度に革新派不満

宇垣外相は、内閣参議時代対英外交強硬論を唱へ、革新陣営方面の共鳴を喚んだ
が、外相就任後は兎角その點を明確にせず、最近新聞紙の観測によれば著しく親英
的傾向を帯びつゝあるやに傳へられるので、一般では外相の再轉向が問題視されて
居り、殊に對英外交を整調して以て事変解決の鍵になさんとするが如き風説さへ生

んでゐる。これがため革新陣営並に外務省内では、宇垣外相の煮え切らざる態度に非常な疑惑を抱き、殊には外務次官の更迭行悩みで氣を腐らしてゐる中堅層以下事務官連は、これと結んで一致結束して白鳥公使の起用促進を要求せんとしてゐる。一方この運動に対し、事務官以上の革新的中堅層は未だ自重態度を持し、行過きた運動は却つて実現すべきものも実現せぬ結果を招来するものとなし、この動きを寧ろ押へる形になつてゐるが、而も両者とも同じ目標、同一目的を抱き乍ら意見の対立を見てゐる模様で、宇垣外相の態度が此の上永く優柔不断を續くるに於ては、足許から意外の波瀾を生すべき虞れありと見られてゐる。

‖ 知日派の新政権合流は ‖

漢口攻略前後に実現せん

反蔣派、密かに時機を覗ふ

支那側は上海、南京、徐州と連戰連敗の道を辿つて居り、更に漢口の陥落も近く

に迫つてゐるので、國民党内には和戰両論が對立、去る六日より漢口に於て開催中の國民参政会議で、早くも第四日目に孔祥熙案が提出されたことは事実である。又同会は議長汪兆銘を始め、余漢謀、宋哲元、李宗仁、白崇禧及び問題の孔祥熙等の知日派反蔣介石では、日支和平論を主張してゐると傳へられてゐる。彼等は、中支維新政府に合流せんとする意向を抱いて居ると見られて居り、一方蔣派及び共産派は例の蘇支密約の具体化に積極的に乗出す模様であつて、反共派、知日派の中支政府合流は、恐らく漢口攻略時後、何等かのかたちで実現してくるのではないかと云はれてゐる。

‖ 林森、蔣介石に下野勧告 ‖

知日派、親蘇派分袂近しか

桑鉢の蔣、焦土抗日續く

確実なる筋への情報によれば、國民政府の要人、國民参政会議長汪兆銘は政府首

席林森を説いて蔣介石に対し下野を進言せしめたと傳へられる。即ち國民政府部内の知日派と目される汪、孔及び張群等は、日本の実力と焦土抗日の愚を痛感してゐた折柄、余漢謀、宋哲元、閻錫山等各將領が戰意喪失、秘密裡に政府内知日派に對し蔣介石の下野を要望してゐたもので、汪の依頼を受けた林首席は苦慮を重ねた結果、遂にこれを蔣に進言したところ蔣は苦悩の色をありありと浮べたまゝ一言も発しなかつたと傳へらる。これがため首席は、両者の板挟みとなり辞任するものと見られこれに伴ひ蔣は國民政府の改造を行つてあくまで焦土抗日を續ける方針のやうであり、孫科、陳立夫等ソ派と知日派の對立は愈よ激化すると共に、赤露の國民政府乗取り陰謀が露骨化す模様だ。

‖ 中島派、決選投票を主張 ‖

總裁問題、鳩山派逆勢となる

政友会の中央地方の党情は、来議会開会前に總裁を決定し、党の結束を固める必要に迫られてゐるが、反鳩山の氣勢は益々強く、それだけに中島派に有利の模様であるが、これに對し中島派は形勢の如何に拘はらず、九月に入ると共に鳩山派に對し逆に決戰投票を申入れ、一挙に總裁問題の解決をはかる意向であると傳へられる。これには鳩山氏も従来の行掛りから異議を持出すわけに行かず党の各機関も他に名案を発見出来ない現状から推してこれを再び回避することも出来ぬ状態にあり、且つ城切總務の如き中島氏を支持しつゝ鳩山氏の決戰投票に賛成した経緯もあつて、大勢は党則に據つて公選投票が行はれるものと見られ、鳩山派の最初の作戰は、皮肉にも遂に中島派の採るところとなつてゐる。

‖ 阿部、小磯両大將の入閣説 ‖

俄然、軍部方面で有力視さる

小磯朝鮮軍司令官及び阿部信行大將は、松井石根大將と共に有力なる内閣参議候補に擬せられてゐるが、軍部方面の情報によれば、阿部、小磯両大將の内閣参議は

模様換へとなり、両大將とも入閣することになるやも知れずと云はれ、而してそのポストは未だ決定されてゐないけれども、現在の空席をやり繰りして相當な重要な椅子に廻はるであらうとの説が有力である。

‖ 廣東中心の新政權も豫見 ‖

軍部、聯邦制の確立を強調

各政權の合流統一は全く至難

北支臨時政府と中支維新政府の合流問題につき、軍部方面では當初からこれに賛成せず、各政府の独自的成長を以て現地の事情に即したるものとしてゐたが、最近板垣陸相の長期建設の方針により、これを決定的ならしめたと傳へられてゐる。更に廣東省を中心として早晩南支政府樹立の氣運も動きつゝある模様なので、事業終了後には支那は北、中、南三区域乃至西部支那を加へて四区域に分立する聯邦制が豫見されてゐる。即ち蔣政見は根絶するも支那四億の民衆が存在する以上、わが國の指導により文化水準を高め、相携へて東洋平和を悠久ならしめる上にこの分散的聯邦政府の樹立は必要であるとされてゐる。

‖ 新聞の自由主義的報道 ‖

銃後國民の判断を惑はす

故意か偶然か、一部に統制論

最近都下一流紙が、支那事変に関し二様の相異れる報道を三面を主として掲載し第三國の新聞かと思はしめるものあり、頗る奇異の現象として愛國陣営その他から注目されて居る。即ち一方に於て支那軍の無統制、志氣阻喪、抗日民衆の轉回等を報道する傍ら、國民政府の強硬決意、各記念日に於ける支那民衆の昂奮状況、蔣介石の當面の對日示威等を掲げてゐる。この新聞の態度を見ればいずれがその本性なりや惑はされるものあり、日本國民は誇大妄想、針少棒大、独善を絶對に排撃すると共に、眞相を知らんことを欲求してゐるのであるが、新聞が故意か偶然かは知ら

ず、國民をして種々の想像を逞しうせざるべからざるが如き暗示的自由主義的報道乃至煽動振りを示してゐる事実に對し心ある者は斷乎として之を統制すべきではないかと輿論を喚へつゝある點注目さるる。

‖ 宇垣内閣説、俄かに抬頭 ‖

時局の動向に變る種の示唆

政界の一部には、最も近き機会に於て宇垣内閣が実現するであらうとの説が傳へられてゐるので関係方面に種々の波紋を投じてゐる。これに關聯して阿部、小磯両大將の入閣説なども取沙汰されて居り、これらの説は時局動向に對して或る種の示唆を齎らすものと見られるも、一方深酷な危機の内藏されるものあれば、相當に複雑化するものと極めて注目されてゐる。

‖ 内政會議の強硬論が ‖

三相、五相会議をリード

宇垣、池田両相の態度注目

政府は、事変を中心とした對外及び對内政策には、微細な點に至るまで相當愼重なる態度を以て臨んでゐるが、時に現地解決、不拡大主義が今日では事実上宣戦布告的性格となつてゐるので、國内外の重要問題協議には三相会議、五相会議を設置しまた國民生活を中心とした國家總動員部内には專ら内政会議が中心となつて掌すると、然し最近右の三会議に現はれた空氣を見るに、最も憂へられてゐた内政会議の空氣は寧ろ豫想以上に強硬であり、即戰即決主義を主張してゐるが、一方三相、五相会議の空氣は、對外的問題を多分に考慮して居る結果、内政会議とは多少其の趣きを異にしてゐる。即ち五相会議では國際事情が相當ものを云ふ形であつて、殊に宇垣外相及び池田藏相の發言權がある意味で相當強大であると傳へられ、この空氣は各方面にも投影してゐるけれども、結局内政会議の強硬論に引摺られるのではな

いかと観測されてゐる。

宇垣外交の実体検討論

革新陣営方面に俄に抬頭
芫洋模湖たるに懐らずとて

支那事変を解決するものは外交々渉にあらずとして、軍部方面では廣田外交に見切りをつけたのは昨年の事と傳へられるが、其の後廣田外交の退却となり、宇垣大将の外相就任となつて外務省が強化され、軍部及外交が並進するの体制を整へたけれども、満来二ケ月に亜んとしてゐるにも拘らず、宇垣外交の実体は模湖として把握するに困難なるものあり、この原因が奈邊にあるか、宇垣外交の検討を必要とするとの意見が、革新陣営方面に抬頭してゐる。即ち宇垣外相は、その就任早々列國をして支那援助から手を控へしめるべく、若しこれを容れざる場合は断乎たる手段をとるべき旨を外國記者團に聲明、英佛方面に異様の刺戟を與へると共に、國内的

に頗る好評を以て迎へられたものであるが、その後、自己の談話に對して積極的方策を立てた模様なく、當然強化さるべき駐外大公使の入替、外務次官の更迭にも頗る臆病なる態度を持し、恰も部内外の聲に左右され、逡巡してゐるが如き感を與へてゐることは、刻々に変化して行く内外情勢に對處すべく、頗る不可解の態度であるといふにある。

南洋方面の華僑挙げて

新政権支持の態度を表明
石原産業を通じて申入れ

事変以来既に一ケ年を経過し、中支北支の戦後経営問題に関しては、新両政権を初め帝國政府は極力急速に復活を圖るべく對策を講じて居り北支、中支開発会社も愈よ八月中には創立總会を開く豫定であると傳へられるが、この急速なる復活状態は特に中支方面の支那人間に驚異の種となつてゐる。南洋方面を中心とする華僑は

従来の将政権支援の無意味なるを悟つて、最近では新政府支持に轉向したと云はれて居り、これ等の華僑の間には、現上海を放棄して下流に新商業都市を建設せんとする空氣が濃厚であると傳へられて居る。即ち南洋方面の彼等は、この程石原産業を通じて、新政府支持の申入れをして来た模様であり石原廣一郎氏は目下政府筋との交渉に當つて居ると云はれるので、同氏今後の動向は、南支南洋方面に相當政治的に重大性を齎らすものと注目されてゐる。

‖ 東拓内部の紛爭暴露 ‖

安川總裁結局辭任か

渡辺前理事の一石重大化す

東拓首席理事渡辺忍氏は、明年五月の任期を前にして突如辭任し十八日発令を見たので関係方面に異常の感を與へてゐる。即ち渡辺理事の辭表は、全く前例なき形式のものと称され、内容は東拓経営に関する根本的指導精神が、現總裁安川雄之助氏の是れと全く相容れざる點を明記してあり、一種の建白的性質を帯びるものであると傳へられる。これより先き渡辺理事の辭表を接受した安川總裁は、流石に愕然として渡辺氏の辭意を求めたけれども、同氏は頑として受け容れざるため止むなくこれを監督官廳たる拓務省へ提出、同省に於てもこれが取扱ひに困じ果てゝゐた折柄、大谷拓相が辭任して宇垣外相の兼任となり、此問題も自然引継かれる事となつたので、過日宇垣陸相は個別に安川、渡辺両氏を招致、両者の意見主張を聴取したる結果、遂に辭任の発令を見るに至つたものであるが、問題は必ずしも落着した譯ではなく、事茲に至るまでには東拓内部の種々の問題が搦み合つてゐる模様であり伏魔殿視されてゐる同社の内情が近く白日下に暴露されるのではないかと見られ、結局安川、渡辺両氏の抗爭は、喧嘩両成敗の形を以て總裁の任期満了までに、安川總裁辭任により、一應結末を告げるであらうと取沙汰されてゐる。

‖ 四省事務當局の間に ‖

統制問題を繞つて軋轢

綿業、皮革統制問題をめぐり大藏、商工省と厚生、農林省事務當局間に軋轢を生じてゐる模様で、成行を注目されてゐる。即ち右統制により必然的に大量の失業群を生じることは明かであるにも拘らず、豫めこれが對策につき關係各省間の緊密な連絡を欠き失業對策が手遅れとなつたといふにある。厚生、農林省ではこれを大藏商工省の独断の責任であるとなし大藏、商工省は厚生省の怠慢なりとして責任を轉嫁し合つてゐると傳へられ、此の経緯は政治問題として、必然的に衆議会に於て取り上げられ、相當やかましく論議されるものと観測されてゐる。

‖ 民政党の底流漸く動く ‖

反總裁派の空氣表面化か

民政党は町田總裁の統制下に表面半隠を保つてゐるが、次期總裁問題につき頻母

木派と小泉派に分裂、暗躍が行はれてゐると傳へられる。即ち町田總裁にあきたらぬ少壯革新分子は、ひそかに町田總裁の隠退を待望し、新總裁によつて現状を打破し、既成政党の旧殻から一歩前進せんとしてゐるものである。即ち彼等は、目下樓内、永井両氏の級趨並に總裁派の動向に深甚の注意を拂ひつゝ待機して居り、これが表面には次期内閣主班者として、宇垣外相が登場するであらうとの憶想が、多分に期待されてゐると傳へられ、党内の微妙な動きは漸く表面化せんとしてゐる。

‖ 宇垣拓相も成行重視 ‖

東拓内部の大改組断行か

既報、東拓首席理事渡辺忍氏の辞任理由は、同社の方針が最近中央――特に軍部と全く疎隔するに至り、動きがとれなくなつた結果安川社長と渡辺理事との意見が對立し、先づ渡辺氏が辞任したもので八月の定期總会に於て安川總裁も辞任することは必至と見られる。即ち最近東拓の事業は、朝鮮のみならず満洲及び北支をも對

象として居り、安川總裁以下幹部は杉山陸相、梅津次官の在任當時、中央軍部の意向を金科玉條となし、関東軍及び現地の意見を全く容れずに経営して来たと傳へられる。然るに過般の陸相、次官の更迭により、梅津次官の現地轉出と板垣、東條両中將の中央歸還により、今更現地の意見を尊重するわけにも行かず、全く窮地に陥つたもので、これは安川總裁の責任と見られて居り、渡辺理事の辞表にも「何分の御詮議を仰ぎ度く」といふ文字が記されてゐると云はれ、早晩東拓が宇垣拓相の手により大改組の断行を見る模様である。

‖ 内閣情報部の越権沙汰 ‖

都新聞の跳拔けさ笑はる
官僚の思ひ上つた態度に非難

都新聞では、週日の紙上に「蒲介石が英國に對し二千萬ポンドの借款を申込んだ」旨、特殊材料として掲載したところ、この記事に関し内閣情報部から同社の首脳部に對し重大抗議が持ち込まれ、執筆者並に責任者の引責を要求して来たので、同社では當面の責任者たる政治部長古澤磯次郎君の職を解き、編輯局勤務に左遷したと傳へらる。該材料の出所は、相當根據あるものゝ如く、某大使が同社記者に洩したとの説あり、而も都新聞社が情報部の抗議に對し一も二もなく屈從し、責任者を處罰した事については、新聞界に於ても同社主脳部の措置に非難を浴せて居り、同時に内閣情報部が記者の引責を要求したといふので、官僚の越権沙汰としてこれまた問題となつてゐる。

‖「産業報國聯盟」内部に ‖

左右両系統の對立を招来、人線派擁護
機関となる虞れありと

日本の労動農民戰線を統一する労資の一体化は、旧冬来芝協調会館内聯局對策委員会によつて具体案が練られてゐたが、漸く厚生省成田労働局長が音頭取りとなり

資本家側から椎桂之助氏、社大から三輪寿壮氏、愛国労働農民同志会から松本学平
日本労働総聯合会から高山久蔵氏等を委員に任命、全国労働、農民団体を網羅する
「産業報國聯盟」結成に乗出したが、日本主義労働団体方面に於ては、各団体のイ
デオロギーを検討せず、既存の組織を改めぬ限り、多数の団体を併合しても意味を
なさず、却つて人民戦線戦術護持機関となるおそれありとして反對論が起り、成田局長
等はこれが意見統一に手を焼いてゐるので実行は注目される。

以上

八月中に於ける

政界裏面史情報

八月（目次）

一、樞府方面の反對に屈せず ‖ 首相兼任所相案を堅持
小磯大將の優遇問題も懸案 …… （一）

一、中央機関は外務省直属 ‖ 初六長官に叛西中將說
對支根本策は五相会議決定 …… （二）

一、大日本青年党分裂の危機 ‖ 建川統領代理の立場苦境
下層部から勃然と改革運動 …… （三）

一、小磯大將の政治的動向 ‖ 政界方面では一斉に注目
結局大和倶樂部へ入会か …… （四）

一、内閣制度の改革問題 ‖ 時局重大化に伴つて眞劍
無任所相の設置、実現性帯ぶ …… (五)

一、我が軍、満を持して山の如し ‖
對ソ開戰の場合は宣戰布告か …… (六)

一、閣錫山、没落過程へ ‖ 蔣介石へ歸順を申入る
往昔の英雄既に老いたり矣 …… (七)

一、近衛首相の政治的動き ‖ 議会對策の一種の方便か
革新政策遂行の足場がため …… (八)

一、近衛首相の八方美人 ‖
革新陣営には不満の色 …… (九)

一、能くなきソ縣の挑戰に ‖ 膺懲臨時議会召集を進言
革新党を初め愛國陣営に強硬論 …… (一〇)

一、近衛首相の總裁問題再燃 ‖ 政民合同、一國一党論招頭
軽井澤會議の成行き注目さる …… (一一)

一、軍需工場の不當利潤抑制 ‖ 軍部當局矯正に乗出す
豫算編成の見積を嚴重審査 …… (一二)

一、宇垣外交の本質を誤まる ‖ 取巻連排撃の猛運動起る
親英イデオロギーの弊風一掃 …… (一三)

一、大和倶樂部改組を免れず ‖
大陸政策遂行研究に專念 …… 一四
一、政界、財界の宇垣派 ‖ 宇垣外交の擁護に起つ
近く上野精養軒に会合して …… 一五
一、シベリヤ横断のハム鉄道 ‖ ソ聯欧かに建設に着手
軍事的、経済的の意義重大 …… 一六
一、發送電會社總裁を繞つて ‖ 政府、業者が最後の駈引
田辺治通、小林一三両氏有力 …… 一七
一、電力問題の政治的解決に ‖ 塩野法相に對する不満起る
愛國、革新陣営眞相乱明へ …… 一九
一、愛國陣営の統一実現か ‖
未議會を目指し横と縦の連絡 …… 五（二）
一、軍疲下の新党樹立運動に ‖ 近衛首相は寧ろ反對の意向、
朝野各方面の連絡会議開催か …… 二（一）
一、擱み得ぬ宇垣外交の眞髄 ‖
宇垣派、政治的手腕を吹聴 …… 二（二）

一、文部省内の派閥一掃に ‖
荒木文相の明断を期待 …… 二二
一、末次内相、有馬農相が ‖ 帝大改革の絶對支持表明
荒木文相案と提携断行を策す …… 二三
一、基督教徒の國家的指導 ‖ 一布教方針に大変革必至
非國民的教信徒の一掃要望 …… 二五
一、池田藏、商相の統制方針と ‖ 中島鉄相痛烈に批判す
官僚の弊、國力總動の齟齬 …… 二六
一、對支機関現地首脳部に ‖ 坂西、津田両中将内定す
總教は現役將官の兼任とな …… 二七
一、文部省内の派閥官僚 ‖ 帝大側と内通して策動
荒木文相の一刀両断を期待 …… 二八
一、池田財経政策の本質暴露 ‖
宙に迷ふ問題の三億圓に非難 …… 二九
一、挙國一覧、各派の有志 ‖
信州上田の某温泉に會合 …… 三〇

一、政党も帝大側を忌避し ‖
断然、荒木改革案を支持 …… 三（一）

一、拓務省は宇垣派策源地 ‖ 右翼方面の懐柔に焦慮す
心ある方面では早くも指弾 …… 三（二）

一、日本[illegible]神運動の永久化 ‖ 大日本学院の設立に期待
卒業生を運動の中心分子に …… 三（四）

一、企劃院、全く機能喪失 ‖ 總裁の更迭改組は必至
資本家擁護の機関視さる …… 三（五）

一、大藏、商工両省内の確執 ‖ 先づ商工省の人事異動断行
池田藏商相、大藏省へも斧鉄 …… 三（六）

一、安川東拓總裁居据りか ‖
必至の留任運動が奏功して …… 三（七）

一、電力問題の責を引いて ‖ 大坪刑事部長近く辞職か
財界方面でしきりに取沙汰 …… 三（八）

一、文展、審査員問題で紛糾か ‖
早くも東京、京都派で暗闘 …… 三（九）

一、政友会總裁問題再燃す ‖
東亜國策研究会が活動開始 …… 四〇
一、日英会談の中止説浩瀚す ‖
一石二鳥を狙ふ老獪な英國 …… 四一
一、各方面の機関説論者を ‖ 證據を挙げて次々に告發
愛國陣営既に調査に着手 …… 四二
一、外地總動員機関の改組 ‖ 内地に先だち実施さるん
官僚独占より民間協力へ …… 四三
一、挙國党の結成具体化へ ‖ 党首に秋山翁擁立の氣運
革新派、政党も深刻に動く …… 四四
一、右翼陣営の對ソ強硬派 ‖ 急速なる國内改造を強調
挙戦時体制の確立目指して …… 四六
一、産業報國聯盟に色眼鏡 ‖ 左右両派共に敬遠の形
政治的色彩が濃厚だとて …… 四七
一、問題の外務次官以下内定 ‖ 次官は重光、ソ聯に御説
幣原外相のメンバー續々登場 …… 四八

一、宇垣外交全く期待外れ ‖ 財界方面でも露骨に批判
老獪なる英國の援支態度 …… 四（九）
一、企劃院の瀧總裁以下の ‖ 東亞研究所入り内定す
企劃院の改組問題近く解決 …… 五（一）

‖ 樞府方面の反對に屈せず ‖

首相、無任所相案を堅持
小磯大將の優遇問題も懸案

國務大臣と各省長官を截然と区別し、同時に無任所大臣を設置せんとする官制改革は、枢密院方面に反對があると傳へられるが、平沼議長は必ずしも反對せず目下原副議長が純理的立場から強硬反對を唱へてゐるとの説がある。これに對し近衛首相は、依然としてこれが実現を期し、風見書記官長をして次々懇談せしめてゐる模様である。即ち現在の各省大臣は國務大臣であつて、同時に各省長官を兼ねてゐるので、これを切離して一省の利害を超越せしめ、國務に没頭せしめやうとするものであり、無任所相は、國家非常時の際人物経済上からも必要とされてゐる。尚これと関聯し、過日豫備役となつた小磯國昭大將の優遇方法につき、板垣陸相は近衛首相と懇談したといはれ、無任所相設置の場合、小磯大將の國務大臣説は一部に有力視されてゐる。

‖ 中央機関は外務省直属 ‖

初代長官に坂西中将説

対支根本策は五相会議で決定

対支中央機関問題は、近く五相会議に於て具体化する取取りである。即ち同中央機関は、外務大臣の指揮監督下に置かれるけれども対支策の根本方針は、閣理、外務、陸軍、海軍、大蔵の五相会議に於て検討決定し、これを現地実行機関に移すものである。而して実行機関は将来駐支大使の兼ねるべきものとしてゐるが、この方針に関し現地方面では最初軍に一任すべしとの強硬意見を緩和したと傳へらるゝ即ち現地実行機関の活躍は、事変後にありと見られてゐるので、現地方面もこれを納得した模様で、その代り現地の機関を通じ中央に對して強大な発言権を有つものと見られてゐる。尚ほ中央機関の初大長官として、宇垣外相の肚程には貴族院議員坂西利八郎中将が描かれてゐるとの噂あり、坂西中将を無任所公使に任命して同機関の運用に當らしめんとするものゝ如くである。

‖ 大日本青年党分裂の危機 ‖

建川統領代理の立場苦境

下層部から勃然と改革運動

橋本統領を統領とする大日本青年党では、橋本統領の不在中、建川中将を代理に仰ぎ、右翼陣営中有力なる青年指導團体として活躍して来たが、数日前建川統領代理は同党大阪支部長池田某氏を党内攪乱の理由を以て除名したことから、池田氏が半耳つてゐる日本産業労働團では、池田氏を支持して建川氏の處置を不當なりと難じ、党の改革運動を起すに至つたため同党は分裂の危機に瀕してゐると傳へられる。即ち今回の問題の起りは、松延理事の八方美人的態度が因をなしてゐるとて党内にも、又各支部の下層部にも池田氏を支持するもの少からず、これに反松延派が合流してゐるので益々党内に對立は激しくなりつゝあり、建川中将も橋本大佐不在中の事とて頗る苦境にある模様である。

‖ 政変説と朝鮮總督 ‖

政変説が出る度に朝鮮總督が下馬評に上ることは、斉藤總督以来政界の定石となつてゐる。之れは歴代の總督が部下を政治的に活躍せしめたことが重大な原因と見られ、特に宇垣總督時代はそれが高潮に達したが、今日も尚ほその風潮が傳はり政変空模様になると、總督関係者は政界人に色目で見られるといふので、南總督はひどく此の點を警戒してゐるさうな。

‖ 小磯大将の政治的動向 ‖

政界方面では一斉に注目

結局、大和倶楽部へ入會か

前朝鮮軍司令官小磯國昭大将は、依頼豫備役となり長の軍隊生活と袂別したが、同大将今後の動向は政界各方面から頗る注目されてゐる。傳へらるる所によれば同大将が豫備役に編入される際に内閣参議の交渉を受けたことは事実であるが、其の

‖ 内閣制度の改革問題 ‖

時局重大化に伴つて真剣

無任所相の設置、実現性濃ぶ

近衛内閣を強化したものと見られてゐるが、近衛首相の意圖した少数閣僚による

國策樹立、支那事変處理の効果は極めて期待薄だつたとされ、更に第三次改造を行つても同一の結果に終はることが明らかになつたと云はれてゐる。從つて側近の一部には第三次改造にかはる無任相設置論が漸く実現性を帶びて来たやうであり、内閣機構の改革問題は、時局が遂日重大化に伴はれて、真剣に考慮されるものと期待されてゐる。

‖ 我軍、満を持して山の如し ‖

對ソ開戰の場合は宣戰布告か

日ソの全面的衝突は、既に時機の問題が残されるのみで、不可避の宿命にあり、大本営と政府の連絡會議が近く開催され重大方針が決せられるものと見られてゐるが、その後の状勢は稍々緩和された観あり、軍部當局は頗る疑惑しつゝあり満を持して赤軍の動靜を監視してゐる。即ち對ソ問題は支那事変とはその性質を異にし、我が永遠の國礎を定める上に重大関係があるので、若し全面的衝突の曉は一挙宣戰すべしとの要望が愛國陣営方面で強調されてゐる。

‖ 閻錫山、没落過程へ ‖

蔣介石へ歸順を申入る

往昔の英雄既に老いたり矣

親日反蔣を表明し、その將来を注目されてゐた山西の閻錫山は、再び蔣政權に復旧を申入れたと傳へられ、反覆常なき支那將領氣質を暴露したが、李宗仁、白崇禧汪兆銘等一連の反蔣將領、親日要人の動向が注目されてゐる。即ち閻錫山は、かねて北支臨時政府並に中支維新政府の合流により、新政府の枢要地位に就任し得るものと見てゐたが、合流問題が実現薄と見て、漢口防衛司令陣誠を通じ蔣介石に歸順方を申入れたといふのである。蔣介石は彼に對し直に漢口線の第一線に立つべきことを命じて皈順を容れたと傳へられるが、往年の北方の英雄閻も、老いれば駑馬にひとしく弱輩陣誠の下に雜軍整理の的となることは明らかであり、彼が没落のドン

底へ自ら突入せんとするは全く心からとさ水てゐる。

‖ 近衛首相の政治的動き ‖

議会對策の一種の方便か

革新政策遂行の足場がため

近衛首相は、最近政党方面に盛んに政治的援助を要請し、政党との連絡會談に當り、更に有馬農相を中心とする農村革新協議会、日本産業報國聯盟、政民両党、協和会（満洲國）新民会（北支臨時政府）と連携を取り、大亜細亜建設に積極的に乗出さんとする準備をなしつゝあるが、我が國内に於ては、政党革新派と農村及び産業方面の新分野とを結びつけて、新党を作らんとする意向を抱いてゐるのは事実とされてゐる。此の新党問題の真相としては、来る七十四議会に於ては支那事変を契機として國内的に相當改革を必要とするので、此の革新政策遂行に國民の絶對支持協力を要請する立前からとて、所謂翼賛会政策の一途たらしめんとするものゝ如くである。即ち首相は、去る七十三議会の對策としては、政民両党より政務官を取り更にその代表者を閣僚、参議に起用したが、尚も此の場合すらいざ断行といふ時には種々の実動が起り、且つ議會中の空氣に徴しても相當考慮すべきよちがあつたといふ経緯に鑑み、近衛内閣強化のため進んで新分野に働きかけたものであると傳へられて居る。

‖ 近衛首相の八方美人 ‖

革新陣営には不満の色

七日、軽井沢の山荘に政友会の中島、前田、旭山三氏を招き政府と政党の緊密化をはかつた近衛首相は、来る十四日更に民政党の町田、永井両氏と同山荘に招待懇談する豫定と傳へられてゐる。この隔立をしたのは有馬農相で、政党方面の希望を首相に取次いだものと傳へられる。即ち政友、民政両党は現内閣に閣僚及び参議を送つてゐるが、三相会議はもとより五相会議にも加へられず、國務の枢機から全く

隔絶された観があり、政党内部に不平が抬頭してゐたので、これを解消する意味もあつて件の會合となつた譯であり、これにより政党の不平も雲散霧消したと云はれるが、首相があまりにも八方美人式であるといふので、革新陣営には却つて不満がある模様である。

‖ 飽くなきソ聯の挑戰に ‖

膺懲臨時議会召集を進言

革新党を初め愛國陣営に強度論

ソ聯兵の長敷峰不法占據事件に端を発するソ満國境の紛爭事件は其の後ソ聯側は漸次兵数を増加しつゝあり、特にソ聯機の越境爆弾投下は去る七日迄に百数十機に及び、何等軍事施設なき民家を爆撃多数の死傷者を出す等暴虚飽くなき挑戰態度を執つてゐるので、革新陣営方面では早くもソ聯膺懲國民大会開催等、「ソ聯撃つべし」の聲が漸く昂まり、今や全國民の與論化せんとする情勢にある。この時に當つて右翼陣営唯一の政党、革新党ではソ聯膺懲臨時議会を召集すべしとなし、近く政府當局に臨時議会召集の進言をなす模様であるが、政府方面では通常議会も切迫しつゝある今日、現在の状勢から見て直ちに臨時議会を召集する意向は有してゐない模様であるが今後のソ聯の出様によつては何ら変化を来たすか豫測されず、ソ満國境事件の擴大は頗る注目されてゐる。

‖ 近衛首相の總裁問題再燃 ‖

政民合同、一國一党論指頭

軽井沢會議の成行き注目さる

全國民再組織運動は必然的に既成政党の合同から、惹いては新党樹立の氣運を醸成するものと見られ、一國一党問題並に近衛首相の新党總裁擁立問題は、最近再び真剣味を帯びて来た模様で、過般の政友会首脳部との軽井沢会談も頗る重視されてゐる。即ち國民精神總動員中央聯盟は全國七十餘團体を網羅し、これに各種産業組

合、青年團等の傍系諸團体との連繫の下に、國民精神運動の統一が遂行してゐるが
これは今後精神運動から政治行動に發展の必然性があり、之迄に甚し政党のみ分立
するを許さず、既成政党の合同又は一國一党を樹立して、國民再組織運動に呼應す
べきものとしてゐる。政党方面には此の大義名分を提らへて政民合同を行ひ、政党
の更生をはからんとする新運が勃興してゐるが、但し之れは彼某の如く大義名分に
藉口して、政権にありつかんとする合同論ではなく、國内情勢を正しく認識した結
果であるとされ注目されてゐる。近衛首相の新党組織問題については依然として白
紙の態度であるが、國民再組織問題とは不可分の関係にありとして、新運の醸成を
待つてゐると傳へられる。

‖ 軍需工場の不當利潤抑制 ‖

軍部當局、矯正に乘出す

謀算綱成の見積を嚴重審査

今事変による國民の経済的持久力は長期戦に堪へることを示してゐるが、軍需イ
ンフレによる現行景氣も相當顯著で、この狀態が長期にわたるときは一般國民大衆
の生活に惡影響を齎すのではないかと見られてゐる。即ち巷間の部分品下請工場に
於てすら、二倍以上の純益を得てゐるといはれ、大軍需品工場の利潤は尨大な額に
上つてゐる。この點を檢討すれば、本年度の軍需豫算四十五億の三分の二を以て賄
ひ得たのではないかと見られ、軍部當局に於ても明年度豫算編成に當つては全品目
の見積を嚴重に審査し、不當の利潤を抑へて國民負担の輕減をはかる一方、戰行景
氣の矯正に努力する意向であると傳へられる。

宇垣外交の本質を誤る

取卷連排撃の逆運動起る

親英イデオロギーの弊風一掃

重慶下の宇垣外交は、各方面から其の成否を注目されて來たが、特にソ滿國境事

件の発生を見て我が対外関係は更に複雑となり重光外相の会見の成行は世界各国より重大視されて居る。此の宇垣外交の本質は、宇垣外相の意向とは全く離れて実際問題としては自由主義陣営特に十日会の如きを初め取り巻き連の積極的イデオロギーを反映する所が大であるとの理由から霞山会の小川平吉、大竹貫一氏等を中心とする人々から、此の取り巻き連を清算せよと猛烈な運動が起つて居ると伝へられる。一方北條吉氏を中心とする大陸経綸同志会では、時局下の外交問題に関し度々政府及び要路各方面に向つて建白書を提出するなど、極力外交を外務省に一元化すべき運動を進めて居ると云はれるが、何れにしても宇垣派は政界を始め各方野に亘つて相当根強きものがあり、早くも次期政権への工作をなして居るものがある状態で、大竹氏はこれらの弊風を先づ一掃せんと意図せんとするものの如く見られてゐる。

＝大和倶楽部改組を見ず＝
大陸政策遂行研究に専念

支那事変で我が政局が頗る緊張を呈した秋、突然革新陣営の巨頭四十餘名を網羅し、第一次会合を芝水交社に於て行つた大和倶楽部は、其の後度々時局問題に関し協議を續けて来たものゝ、過般山下大佐（内相秘書官）の脱退につき松井大将の内閣参議入りにより、右翼方面、革新陣営方面から其の政治的動向を注目されて居たが、前記の人的異動から最近では会合をなしても大川、石原氏等を中心とする約十名位しか集合せず、最初の期待に反する結果となつてゐる。一部方面の観測では、此のまゝの状態を續けて行けば、同倶楽部は自然解消となる虞れがあるために大川石原氏等は此の際同倶楽部を改組する必要があるとの意向を抱くに至り、目下北支方面に旅行中の大川氏の帰京を待つて、之れを純然たる大陸政策遂行研究機関に改組することになる模様である。

‖ 政界、財界の宇垣派 ‖

宇垣外交の擁護に起つ

近く上野精養軒に会合して

宇垣大将が外相に就任以来政界初め各層の宇垣派は宇垣内閣実現に活溌なる策動をなして居るとの噂さがあるが、最近宇垣外相に對する非難が右翼陣営、革新陣営方面に傳へられて居る今日、先般上野精養軒に於て開かれた對支同志會では、徹底的に宇垣外相を攻撃したことから、宇垣派を非常に刺戟し、同派ではこれを反撃する意味で近く同所で宇垣外交の真相を披瀝し、世上の非難に應へる事になつた。同演説会には、同郷の誼から発起人として平沼男、秋山翁等の名も列ねられてゐるけれども、之れは單に名目だけのものらしく、然しこの會合が近衛首相其他の理想とする一國一党論とも裏面で相當の脈絡をもつものゝ如く見られるので、宇垣大將を將来總裁に推立して新党を結成せんとする動きの現はれとも傳へられてゐる。即ち重臣方面の支持者は湯淺、一木、政党関係では民政党の十日會を中心とする一派、また政友会では岡田忠彦氏等が例の憲山對中派のいきさつを刺激して、宇垣派の強化を計つてゐるとの説もあり、財界方面では從来の関係から宇垣支持者は多數に上る外前記岡山県人会が中心となつて宇垣外相を首領とする一國一党の実現に努力してゐると云はれてゐるので、時節柄各方面の注視を集めてゐる。

‖ シベリア横断のハム鐵道 ‖

蘇聯、俄かに建設に着手

軍事的、経済的の意義重大

ソ聯はシベリア横断の新線ハム鉄道の工事を本格的に進めることになり、建設資材を盛んに同方面へ輸送してゐると傳へらるゝ。この新線はシベリア鉄道の要衝クラスノヤルスクを起點とし、バイカル湖の北方を通過して沿海洲間宮海峡に臨む小都市ウカワニを終點とするもので、シベリアの中部を東西に結んで一直線に走り、沿線のコムソモリスク、ウストウニマン、エキムチン等の工業都市を連ね、シベリア

鐵道へ連絡の計劃が建てられてゐる。即ち該鉄道はシベリアの経済的、軍事的重要價値を悉く此の一線に集めんとするものであり、現在のシベリア鉄道はソ満國境に接してゐるので一朝有事の際には直接日満の脅威を受け易いといふのでハム鉄道を第二防備陣地とする計劃の如く、此の新線に沿つて堅固なトーチカ、飛行場が同時に建設される模様である。完成までには五ヶ年を要すると見られるが、全通の暁はシベリアの價値を十数倍に引上げるものと見られてゐる。

‖ 發送電会社總裁を繞つて ‖

政府、業者が最後の駈引

田邊治通、小林一三両氏有力

第七十三議会で通過を見た電力発送電会社の諸法案は、十日発令公布され愈よ第二段階に入つた。然し業者側の方としては、飽くまでこれを有利に導びかんとする方針のもとに、最後に残された同會社總裁の椅子問題で、相當に粘り、電力業者側から總裁を選任ありたしと要望し、第一候補には日電の池尾社長が有力であつたが例の内藤事件の發展で困難となり、第二候補の東電社長小林一三氏を推す模様である。万一小林氏の就任が不可能なる場合は各務、児玉両氏を推すべく三段戦法を取つて居ると云はれてゐるが、政府方面としては前満洲國政府参議田辺氏を有力候補としてゐる模様で、電力問題は三度び總裁を繞つて複雑なる場面を展開しつゝあり總裁問題の成行は極めて重視されてゐる。

‖ 電力問題の政治的解決に ‖

塩野法相に對する不満起る

愛國、革新陣営真相糺明へ

政治的見地からも重大視されて来た電力問題は。去る七日をもつて檢事局側の意見により一應解決を見るに至つたが、然し同問題に関連して今尚ほ色々な噂さが流布されて居り、而も最初の諒想を裏切つて政党側に何等関係がないことが明らかと

なつたので、政民両党では目下日電問題を取り上げてその真相調査を進めてゐる模様であり、来る第七十四議会では両党協同の上、検察當局の處置の誤まれる點を指摘、政府を問責すると共に再び同問題を繞る人権蹂躙問題を振りかざし、政府に肉迫すべく劃策してゐる。即ち今回の日電問題は、使途不明の僅か八萬圓の金から出發して居ると云はれ、而も帝人事件の如きは相當の摘発材料があつたに関らず、結果的には検事局の面目丸潰れとなり、政党方面から検察制度の改革が提唱されてゐる矢先、今回の電力問題で又もや検事局は不利の立場に立ち、議会で追及されるに於ては、司法當局の威信にも影響するので注目されてゐる。一方警視廳當局は、去る議会中に安部社大党首襲撃事件及び政党本部占據事件等で相當苦境に立たされた揚句、今度の電力問題では徹底的にメスを振つて名譽回復をなさんとしてゐたのであるが、而も此の間にあつて塩野法相が政治的解決を下したといふので、一層苦しい立場に立たされた譯であり、愛國陣営、革新陣営ではその苦衷に同情して塩野法相に對し質問の矢を集中せんとしてゐると傳へられてゐる。

‖ 事変下の新党樹立運動に ‖

近衛首相は寧ろ反對の意向

朝野各方面の連絡會議開催か

最近有馬農相が中心となり政府要人、官僚等の間で新党運動が盛んに行はれて居り、先般結成された日本農村革新協議会、産業報國聯盟とを合同して新党樹立の母胎となす計劃は着々進められて来たが、近衛首相としてはこれ等の策動に對して、近く機械を見て自重勧告的意志表示をなす意向を有して居ると傳へらる。即ち首相の意向は組閣以来の對立解消主義は此の日支事変下に於て益々必要となり、挙國一致、東洋平和の樹立に邁進すべきときに國内に於て政治的對立を激成することは避けるべきであるといふのである。此の意味に於て先般の政党代表会談となり軽井沢会議の出現となつたのであるが、此の對立解消主義は来議会上にも當然表はれて来るものと豫想されてゐる。その現はれとして恐らく七十四議会開會前に政府と政党右翼革新陣営各方面の巨頭との連絡、意志疏通を目的とする会合が催され、一致協

力日支事変解決に邁進すべく、政治工作が進められるものと見られてゐる。

‖ 掴み得ぬ宇垣外交の真髄 ‖

宇垣派、政治的手腕を吹聴

宇垣、クレーギー会談は、英國側の希望により英國議会終了後まで延期された模様であるが、各方面では右の会談内容の發表を要望してゐる。これに對し外務當局は、未だその時期に達せずとして内容はもとより、経過についても當分發表せぬ方針らしいので、各方面とも宇垣外交の真髄をつかみかねて、餘儀なく沈黙靜觀してゐる状態にあり、目下國民は宇垣外交に引摺られてゐる形だが、宇垣宗の人々は宇垣外相の政治的手腕の冴えたる證左であると吹聴してゐる。

‖ 文部省内の派閥一掃に ‖

荒木文相の明断を期待

荒木文相の教育会に投じた一石は、俄然現状維持派の反對するところとなりこれを政治問題化せんとする不純の策動も行はれてゐるが荒木案を支持する方面では、此の際啻に大学改革のみならず、これと通謀する文部省内の不純分子、即ち省内の派閥をも一掃すべしと進言してゐる。

由来文部省は、他省と異つて表立つては目に付かぬけれども、裏面の派閥関係は非常に複雑して居り、御殿女中式の策動が絶えず行はれてゐるので、これらの弊を除去することは、荒木文相ならでは出来得ぬと云はれ、帝大改革と共に期待されてゐる。

‖ 未次内相、有馬農相が ‖

帝大改革の絶對支持表明

荒木文相案と提携断行を策す

荒木文相の投じた帝國大学改革案は、現状維持派によつて漸く政治問題化されん

としつゝあるが、最近閣内に於て有馬農相、末次内相が最も熱心に荒木案の絶對支持を表明したことは注視されてゐる、即ち大学側が自由主義的言論機関を背景として文部當局に猛突いてゐるので、内務省當局に於てもこれを重視し、末次内相、鎗次官は安倍總監、本間警保局長、大島圖書課長等と協議を遂げ、自由主義の温床を徹底的に掃蕩する方針を決したと傳へられる。

一方右翼團体の國体擁護聯盟、時局協議会関係團体、大日本青年党愛國学生聯盟等でも荒木案を支持して積極的に乗出す模様で、目下演説会等の準備をなして居り全面的に自由主義、排撃の猛運動を起す既取りであるが、既に此の問題は國民精神總動員中央聯盟の主催する全國講演会等に於ても取上げられて居り成行は極めて注目されて居るが、又前記の如く閣内に於ける荒木、末次、有馬三大臣の提携は、政治的にも重大なる示唆を投じてゐる。

基督教徒の國家的指導

布教方針は大変革必至

我國民的教信徒の一掃要望

國民再組織、編成問題に伴ひ、従來團体方面ではキリスト教徒に對する國家的指導を最重にすべきであるとなし、内務省に二派を要望してゐると傳へられる。即ち事変以來、都下キリスト教会は、國民的熱意を全く示さず、銃後の奉仕を欺き教師、信徒中には反戦的口吻を漏すものさへ少なからずあると云はれる。

而かも事変下に於て信徒から献金を徴收し、これを外國本部に送金するかの如きは國策に反するものであるといふので、送金の中止、賣國奴的牧師、信徒の一掃を要請、内務省でも近く之が對策を立てるものと見られてゐるが、敎世軍はじめ各種キリスト教会の布教方針に一大変革が齎らされるものと見られてゐる。

‖ 池田藏商相の統制方針を ‖

中島藏相、痛烈に批判す

官僚の弊、國力認識の欠如

長期戰下の物資統制に絡んで、池田藏商相非難の聲が相當しつゝある。尤も高度の統制を斷行したことによつて、國内外に影響を與へたことは最初から豫想された所であり、寧ろ當然とも云ふべきでもあるが、全面的に統制を行つて未だ一ヶ月も經過しない今日、又同品目に對して緩和策を取つたことなどは、一般民衆から特に非難される訣である。

即ちこの現象は、池田藏商相初め官僚が机上の空理を實際に當てはめんとした失敗であり、國力に對する認識を缺如し、盲目的統制をなした結果であると云はれてゐる。又過日首相が政友會の巨頭と軽井沢に於て會合をなした際、適々此の問題を捉へて、中島鐵相は池田藏商相の産業擴充政策を批判し、痛烈に非難して家内工業の擴充案を提唱し、首相も此の案に贊意を表したと傳へられたことは、池田藏商相の今後の産業對策に、極めて意味ふかき示唆を投じたものと見られてゐる。斯の如く池田藏商相の施策に關し、各方面に種々の導きが流布されてゐる事實は、武相の今後の動向と照し合はせて非常に注目されてゐる。

‖ 對支機關現地首腦部に ‖

坂西、津田兩中將内定す

總説は現役將官の兼任となる

蔣介石が死守を呼號した漢口も、我が軍の急追撃によつて其の攻略も既に時期の問題とされて居る。一方北支中支を中心とする現支那の建設に當つて、日滿支三國協力のもとに着々準備を進めて居るが、北中支の開發會社に伴つて對支中央機關の設置を急ぐ事になつて居たが、時局柄現地中心主義によつて現地に大機關を置き、東京には顧問官一名を置く程度の一事務局となす模様である。

現地機關總裁は現役將官の兼任となるものと云はれて居り、最適任と見られる前に

よれば、同機関首脳部には陸軍代表として坂西利八郎中将（貴族院議員）海軍代表としては前駐満海軍司令官津田静枝中将が任命されることに内定したとの説あり、北支中支方面へ視察に向つたが、皈京早々正式に決定を見る模様である。

‖ 文部省内に派閥官僚 ‖

帝大側と内通して策動

荒木文相の一刀両断を期待

荒木文相は、帝大改革のみならず文部省の改革、教育行政を壟断する所謂帝大閥及び茗渓閥を打破せんとする意圖を有するものと見られてゐるが、この状勢を觀取した省内の中堅層にして、恒に各閥を牛耳つてゐる督學官及視學官級は、各帝大の改革反對分子（いづれも帝大が茗渓閥に属してゐる）と通謀し、文相の改革を阻止すべく秘かに策動してゐる模様である。

即ち荒木大将の文相就任により、多年伏魔殿視されてゐた文部省省に革正の斧鐵が加へられることは豫想されてゐたが、その鋭鋒は帝大に向けられ、文相の意圖が廣範圍にわたり且つその決意の牢固たることがわかり、今更この一派たる督學官、視學官連は周章狼狽を極めてゐるが、一方關會社その他の文相を支援鞭撻するする聲は頗る強く帝大問題の改革に引續き、省内の革正断行は必至と見られる。

‖ 池田財経政策の本質暴露 ‖

宙に迷ふ問題の三億圓に非難

輸出振興費として設置された三億圓が現送されたにも拘らず、これを利用するものが皆無で、輸入許可證が一枚も為替市場に現はれぬといふ奇怪な現象を生じ、業者方面では、池田藏相の政策に非常に不満を感じてゐると云はれる。

即ちこれを利用する場合には、四ヶ月以内に外貨を以て返済しなければならぬこと、借受と同時に相當額の外貨手當を區分整理しておかねばならぬとの條件が附されてゐるため、原料を購入しても製品として輸出するまでには四ヶ月以上を要する

ので、これが措入を躊躇してゐる結果であり、日本銀行方面では、當初からこれが実際運用は不可能であることを見越してゐたと傳へられ、宙に迷つてゐる三億圓が噂の如く海外支拂の決済に充當され、池田財政の本質が暴露されるのではないかと注目されてゐる。

‖ 奉國一党、各派の有志 ‖

信州上田の某温泉に会合

近衛首相と中島鉄相、前田参議等の軽井澤会談に於て、中島鉄相は挙國一党を力説し、首相はこれに賛意を表したことは確実と見られてゐる。従つて政友会内に合同運動が底流してゐることも事実で、第一倶楽部、其他の小會派と連繋する機運が動いてゐる模様である。

即ち同會談の行はれた八日、旧沼和の守屋栄夫、井坂豊光、國同の野中徹也、日本革新党の赤松克麿、山崎常吉、豊田收氏等約十名が信州上田温泉に會合、政友会方面の既成政党合同問題に関する意見の交換を行ひ、これが促進をはかるを申合せたと傳へられる。この会合には政民からは参加を見なかつたが、大体東亞國策研究會のメンバーが主体となつてゐる。

‖ 政党も帝大側を忌避し ‖

断然、荒木改革案を支持

帝大改革問題に関して今日まで静観して居た政党方面では、過般文部當局と帝大當局との會見席上、帝大側が改革の不必要を唱へ、且つその理由として「今日まで政党過に捲き込まれざりしは、大学自治の賜である」と放言した事から、俄然政党方面の憤激を買ふに至つた。

即ち民政党では森下國雄、政友会では猪野毛利栄氏等を中心とする一部では、帝大側の態度は明快なる論理を缺き、而も感情的要素が多分に含まれてゐるといふので、断然荒木文相を支持することになつた模様で、斯くて官選問題は政党内部まで

波及し、益す政治問題化すると共に、帝大側では味方と信じてゐた政党方面の空氣悪化に頗る狼狽してゐる。

拓務省は宇垣派策源地

右翼方面の懷柔に焦慮す

心ある方面では早くも指揮

宇垣大将が、先年組閣の大命を拝しながら、多年の野望であつた宇垣内閣の組閣が出来ず、遂に流産したことは宇垣大将を取巻く一派にとつて千秋の恨事とされ、第二次宇垣内閣の実現は困難であると見られたとめ、其の後現金な取り巻き連は大将の下へ足を運ばなかつたが、事変の重大化は同大将をも野に捨て置かず、俄然現内閣の重要ポスト外相の椅子にせり上るや、又々宇垣一派は宇垣内閣実現の望みを再燃せしめ、兎角くの後継運動説が流布されてゐる。

然しながら宇垣外相が、就任して今日まで既に二ヶ月、一部には早くも反宇垣空氣が抬頭し、相當根強いものがあるので、これ等の反宇垣空氣を解消せしむべく、側近方面では頭を悩ましてゐると傳へられる。一方宇垣内閣流産の際の参謀長であつた今井田清徳氏は流産以来宇垣大将側近者の反感を買ふ所となり、外相就任後も殆ど足を遠のいてゐる模様であるが、宇垣大将が朝鮮總督當時の秘書課長として政界の表裏に辣腕をうたはれた安井清一郎氏は、其の後拓務省拓務局長に復活し、今日では省内に絶大の権力を振つてゐると云はれ、更に大将の女婿矢野氏が宇垣兼任拓相の秘書官となるに及んで拓務省は俄然政界の注視を集むるに至り、最近では宇垣内閣準備参謀本部の観があると取沙汰されてゐる。

更に宇垣派では、流産當時の情勢が右翼方面に芳しからず、猛烈なる反對を受けた事情に鑑みる所あり、今後は此の方面を有利に導かんとして、色々懷柔の手を打つてゐると称されて居り、それがあらぬか拓務省は、右翼方面の策源地の如くに噂されてゐる。

‖ 日本精神運動の永久化 ‖

大日本学院の設立に期待

卒業生を運動の中心分子に

事変發生と同時に、政府では國民精神總動員中央聯盟を設置し、一方民間側では大日本精神運動を簡単凡夫、窪井義道、松井七生中將、今泉定輔、荒木大將等によつて提唱しはじめ、中央聯盟同様各地方で演説会等を續けて来たが、今後永久的に日本主義運動を續ける前提のものとに、同会では来年四月より大日本学院を設け、其の卒業者を満洲、支那、蒙古方面へ、また國内では各地方農村へ振り向けて中堅幹部となし、農村を指導させる既取のやうである。

同校には、中学卒業程度以上の者を入学せしめ、高等学校程度の教育を施し、科目を訓育部、事業部に分ち、修業年限を三ヶ年間となし、訓育部は主として軍隊的組織に準して軍事教練を中心となす模様で、事業部は一般高等学校の科目と同様になす様定である。即ち日本主義の宣揚を目的とするものであり、更にこれを各会社宮廷等の日本主義運動に發展飛躍せしめる目的であると云はれて居り同校の開設は相當期待されてゐる。

‖ 企劃院、生く機能喪失 ‖

總裁の更迭、改組は必至

資本家擁護の機関視さる

灌企劃院總裁の更迭説は早くから流布されてゐるが、これに伴ひ同院の根本的人的の建直しが革新陣営をはじめ一般中小商工業者方面から要望されてゐる。即ち企劃院は革新政策の策源地と目され、當初頼る期待されたものであるが、五相会議の設置以来その機能を失つた感があり、池田機商相の就任により企劃院の立案は國民大衆の生活を脅威し、資本家を擁護する機関と化したとの怨嗟が揚げられてゐる。

これは灌總裁以下首脳部が官僚軍で、真の革新派でないことに起因してゐると見られてゐるが、これに對し過般の内政会議に於て、有馬機相から企劃院強化の意見

開陳があり、末次内相も同意見であつたと云はれ、龍總裁以下首脳部の要送は必至と見られてゐる。總裁後任には官僚出身者を排し、軍部方面から物色する近衛首相の意向と傳へられ、商部信行大將、伍堂卓雄中將の叱聲も高いが、民間側から起用するとせば興中公司社長十河信二氏が最も有力視さる。

‖ 大藏、商工両省内の確執 ‖

先づ商工省の人事異動斷行

池田藏商相、大藏省へも斧鐵

事変下に於ける物資統制は、目下商工省大藏省が中心で統一を計つてゐるが、是来の関係から大藏、商工両省事務當局の確執依然として除かれず、池田藏商相も頗る苦慮してゐると傳へられて居り、此のため愈よ近く商工省内の人事異動が斷行される模様である。

即ち商工省内には、現在でも尚ほ吉野前商相の恩のかゝつた一派が其の中心を占めて居り、革新派との對立を生じてゐる事実もあるので、現次官村瀬氏以下課長級に至るまでの大異動が、遅くとも九月までに行はれるとか觀測が有力で、村瀬次官の後任には現物資調整局次長元次官竹内可吉氏が擬せられてゐる。商工省の人的刷新斷行後には、大藏省内にも異動があるものと豫想されるが、問題の次官には前藏相賀屋氏の格下け就任を見るものと云はれてゐる。

‖ 安川東拓總裁居据りか ‖

必死の留任運動が奏効して

安川東拓總裁は、八月中辞任するものと見られてゐるが、最近その氣配なく来表まで居据るのではないかと云はれてゐる。即ちさきに渡辺筆頭理事の辞任に伴ひ、當然引責するものと噂されてゐたが半垣拓相並に軍部方面へ必死の諒解運動を試みたとの風説があり、社内に於ける安川總裁の不評は俄然表面化して来た模様である

‖ 電力問題の責を引いて ‖

大坪刑事部長近く辞職か
財界方面でしきりに取沙汰

警視廳大坪刑事部長は、過般の日電内藤副社長取調問題から苦境に陥り、議会開会前に引責辞職するのであらうとの説が財界、現状維持派方面で専ら取沙汰されてゐる。電力問題に對しメスを入れるに先立ち、檢事局は物にならずとして一應注意を促したとも傳へられ、而も警視廳首脳部は自信を以て内藤氏を留置したところ、遂に事件は龍頭蛇尾に終はり警視廳の面目丸潰れになつたと云ふのである。

而もこれは警視廳が檢挙件数主義を揚棄し、大物主義に方針を轉じた最初の失敗であるとされ、安倍警視總監の進退問題も導されてゐる。但し安倍總監は、各方面の氣受けが良好であり支持者も多いので大坪刑事部長と一連托生的に辞任することはあるまいと云はれてゐる。

文展 査員問題で紛糾か

早くも東京、京都派で暗躍

戦時下の文展を開催すべきか否かにつきては各方面に賛否両論對立し成行き頗る憂慮さるゝものがあつたが、荒木文相は戦時下こそ開催して帝國民としてこの襟度を海外に示し、一には以て國民精神總動員の一部ともなすべきであるとの理由により開催断行することゝなつたことは洵に是とすべきであるが、茲に早くも審査員問題を繞つて一紛糾を来すべきソン團氣を醸しつゝある。即ち第一部審査主任と決定した川合玉堂が辞退し、已むなく後任に京都側から菊池望月を推すべく内定してゐるが、東京側では、主任を京都側に奪はれては全く勢力を去勢される事となるとの理由から断然反對し早くも一紛糾免れぬ形勢にあり、斯くては文展開催の主旨にも反し、帝展改組問題の二の舞を演ずる事ありては却つて害ありて益なきものとて一部に断乎開催中止の聲が揚りつゝあるは注目される。

政友会總裁問題、再燃す

東亞國策研究会が活動開始

暑休明けと政治與節の逼迫に伴ひ最近政友会に於ては總裁問題の再燃する所となり數日来東亞國体は某所に会合活動を開始せりと謂はれ之等は從来の運動と稍々戰法を換へて鳩山、中島、前田、高田の現代行委員は暫定的のものなれば此機に四代行委員の入れ替へをなすべきなりと主張し後任代行として党の長老たる大原房之助三土忠三、川村竹治を起用すべしと強調してゐる。

政友会分裂の参謀本部と称せられる東亞國策研究会に於ては先に總裁公選問題の表面的解消と共に其活動を停止し居たる處御家騒動の再燃により最近に至り又活動を開始するに至つたもので去る二十四日先の内中兵亭に生田八角、西方各代議士其の他數名参集世話人会を開催政治期も目前に迫りたるを以て本格的に研究を開始すべく申合せたる模様で同世話人会に於ては將来の研究機構として小委員会を構成する事に決し会長に堀切善兵衛副会長田子一民、清瀬一郎を推し其他十數名の委員を匣営を整備したと傳へられる。

‖ 日英会談の中止説抬頭す ‖

一石二鳥を狙ふ老獪な英國

去る五月の第一回会見以来宇垣外相對英國大使クレーギー氏の会談は遅々として進まず、英國側では日本側に誠意なしとの極端なる意見を吐露するなど其の横暴なる態度には今更下ら頻る心外千萬とするところである。

抑々此の原因は英國側に於て蔣政権を不法に援助し、我が正体なる外交行動乃至軍事行動を故意に牽制し飽迄蔣政権を援助して自己に有利に展開せしめんとし、一方には日本が占領したる地帯の在支權益の確保を要求して已まず、これが貫徹を期せんが為めには議会や言論機関を通じて威壓と恫喝のゼスチユアを示し圓滑なるべき外交会談を自ら破壊するが如き老獪なる行為は却つて日本側と益々根本的に相容れざるものとなり、この一石二鳥を狙ふが如き卑劣なる態度を改めざる限りこの

会談は當然この際断乎打切るべしとの輿論が朝野に漲りつゝあり今後の成行こそ頗る注目さる。

‖ 各方面の機関説論者と ‖

證據を挙げて次々に告發

後國陣営説に調査に着手

高度に依る國際及國内の諸情勢の緊迫は、日一日と深刻化し、これに對應すべき國内の諸体制の高度の改革は必至の趨向に在り、革新陣営に於ては、その要件として人民戦線の温床たる機関説論者の徹底的掃蕩を主張してゐるが、過日の神兵隊事件公判に於ける宇野裁判長の機関説排撃に関する意見は、革新陣営に多大の反響を呼び、其の後の影響に就て注目されてゐたが、神兵隊及び其他の革新派にはすべての機関説論者を調査の上、續々告発すべしとの意見が強く抬頭してゐる。

即ち某愛國團体の如きは、既に実際上の調査に取りかゝつたと傳へられて居り、若し同問題が俎上にのぼる場合は、政界の上層部にも波及する虞れがあると見られるばかりでなく、実業界、言論会の機関説論者にも波及するとの觀測もあり、頗る注視されてゐる。

‖ 外地總動員機関の決議 ‖

内地に先だち実施されん

官僚独占より共同協力へ

内政会議、五相会議で問題となつた國民精神總動員中央聯盟の改組問題は、其の後厚生省、内務省當局で目下慎重に協議されて居るが同聯盟が結成された當初に於てすら、すでに政界方面から問題にされて来たものであり、今日政府内の一部より改組を要望されることは當然とされてゐる。然し五相会議に於て改組を断行することに決定して居ながら、未に実施されてゐないので、最近又々革新陣営、右翼團体方面には速やかに之を改組し、國家總力戦の徹底を期すべきであるとの空氣が濃厚

になりつゝある。

また内地の運動員運動の主体中央聯盟の改組に先立つて台湾、朝鮮、満洲等の外地に於ける總動員運動方針の轉換も問題となつてゐるが、これは官僚中心に行はれてゐる處から官僚独善の弊があると見られてゐるためで、内地同様改組を要望されてゐる。即ち先の五相会議に於て改組が決定されたと傳へられるや、外地に於ても改組断行運動が起つて来たので、愈よ内地より一歩早く改組が行はれる模様である

‖ 挙國党の結成具体化へ ‖

党首に秋山翁擁立の乗運

革新派、政党も深刻に動く

問題になつてゐた挙國党は、國内政治情勢の深刻化と共に愈よ具体化し、今秋実現される事が確実視されるに至つた。即ち挙國党の結成は革新派は勿論、既成政党内部からも力説され、殊に軍部方面でもこれを期待してゐるとそはれたが、各種の

事情から結成を見るに至らなかつた。併し最近の情勢の推移は其の結成を促進せしめ、愛國團体合同の機運、小会派の積極的な動き、政民両党の分解作用等が相當に行はれ、極めて有利な條件が整備されて来た。

殊に従来の動きと異なる所は、官僚人がこれに好意ある支持を與へてゐることでこれは其の結成に拍車を加へたと見て差支なく、政治の戦時体制化の不可避なる実状から見て、今秋の実現は殆んど確実視されるに至つた。而して党首に何人が推されるかは頗る興味ある問題であるが、現在の所同党結成の主動勢力となる各個人及び團体間には、秋山定輔翁を擁立せんとの意向が強く、問題は翁が果して出馬するや否やである。老いて益す愛國の熱情に燃ゆる翁の最近の心境から推して、必ずしも悲観するに當らずとして夫々躍起となつて蹶起を慫慂してゐると傳へられるが、翁の側近者と見られてゐた秋田清氏一派が、此の運動から全面的にオミットされてゐることは注目される。

‖ 右翼陣営の對ソ強硬派 ‖

急速なる國内改造を強請

純戰時体制の確立目指して

去る七月に突如勃発したソ聯國境張鼓峰事件は、彼我の停戰協定によつて一時圓満解決を見たものゝ、依然として赤軍は其の後も度々越境した事実があるので、常に對ソ膺懲を叫んでゐる右翼團体中の對ソ強硬派時局協議会、生産党、愛國労農同志会では、依然としてソ聯膺懲を強調してゐる。而してソ聯に對する膺懲を断行するには、現状維持的國家体制では到底目的を達成し難いので先づ國内の改造を断行しなければならないと主張してゐる。

即ち對ソ膺懲は、更に長期戰を覚悟しなければならないので、此の意味に於て現在の國内諸機構を改造し、純戰時体制を整へて聖戰最終の目的たる世界平和の確立を期すべきであるとなし、對ソ膺懲派の右翼陣営では徹底的な、國内改造を要望してゐる。

‖ 産業報國聯盟に色眼鏡 ‖

左右両派ともに敬遠の形

政治的色彩が濃厚だとて

日支事変に對應して國内の産業拡充を圖る意味から、有馬農相が中心となつて産業報國聯盟を結成したことは、政界方面から多大な関心をもつて其の成行を注視されてゐる。即ち産業報國聯盟と日本農村草新協議會、（前の全産聯を中心とした團体）とが合同し、産業農村團体を地盤とする新党結成の前提ではないかと見てゐるからだ。

一方右翼労働團体方面では、右の産業報國聯盟を目してその組織は全く自由主義的色彩を帯びたるものとなし、斯かる團体に参加することは出来ないとの反對意見が大勢を制してゐるので、聯盟側では右翼團体の参加を希望せず、正しく反對的態度を示してゐる。

また左翼團体方面では、総同盟が唯一の参加團体であるが、これも表面だけの参

加であつて実際的には動いていない様である。即ち同盟が真の産業労働者の統一
團体でなくして、政治的土台に利用されんとする真ればあるとの疑心を抱いてゐる
からである。

また実際問題として、思想的に對立を積けて来た各團体が合流しても、結局派閥
争ひとなり産業報告の使命を達成することは至難であるから、むしろ現状のまゝ夫
夫産業報國に向つて邁進するに若かずとなす意向は、左右両派ともに共通した感情
であり、報國聯盟日本農村革新協議会は、結果的には両派から撤退される形になつ
てゐる。

問題の外務次官以下内定

次官は重光、藤縣に東郷説
幣原外交のメンバー賞を登場

宇垣外相は、幣原外交の革新と云ふ大使命を期待されて居たにも拘らず、外交界
先輩の横槍で遅疑逡巡し一般を失望させてゐたが、最近大異動を決意し近く発令す
る運びに至つたと傳へられる。即ち外務省革新の中心問題たる次官には重光駐ソ大
使、駐ソ大使には東郷現駐独大使、駐独大使には大島陸軍中將（駐独武官）支那大
使は有田元外相と決定されたと信ぜられる。

此の異動内容が傳はるや、外務省革新派及び政界一部には早くも大衝動を起し、
ごうごうたる批判が行はれてゐるが、その批判の中心は何と云つても重光次官説で
同氏は廣田外相當時のよき女房役として、又幣原系の寵児として知られて居り、革
新派としては現在の情勢から見て同氏の起用は夢想だにしなかつた事で、相當問題
化す可能性があり、頗る注目されてゐる。

宇垣外交全く期待外れ

財界方面でも露骨に批判
老獪なる英國の援支態度

宇垣外交の根本精神に就ては、内外共に等しく注目してゐる所であるが、日英國交調整をもつて其の重要特色となしてゐるものゝ如くである。そうした根據から宇垣、クレーギー会談と英國外務省最高顧問バンシタート、吉田会談の展開となつたものであるが、イギリスの對日認識の不足から、此の会談は期待された程の成果をも詰ばなかつたやうである。

宇垣外相としては、この会談によつて英支二千萬ポンド借款を中止せしめたと称し、唯一の手柄にしてゐるけれども、事実は之に反してイギリスは表面的には中止したかの如く装ひつゝ、密かに英支二千萬クレヂットを設置したと傳へられてゐる

それのみでなく宇垣、クレーギー会談は、各方面各角度から色々取沙汰されるに至り、財界の一部に於ては「宇垣、クレーギー会談は明らかに大失敗である。日本からイギリスに呼びかけて國交調整をやるといふ手はない。イギリスが日本に遠きついて来なければならない」と批判してゐるが、宇垣外交も素人の財界人にケチをつけられるやうでは、議会での難航は必然的であるとされ、外交通の間では、外相が今日のプレーン及び方針を以て進んで行くとせば、其の前途はもはや知るべきものと噂してゐる。

企劃院の雑總裁以下の
東亜研究所入り内定す
企劃院の改組近く解決

言民共同の東亜諸問題の調査並に研究機関として、過般企劃院内に誕生した東亜研究所は、初代總裁に近衛首相を推戴し、民間財閥有志、各團体等の賛同の下に一千萬圓の調査研究費を擁して將来の成果を期待されてゐるが、実質的活動に入るのは愈上今秋頃からと見られ目下諸般の準備を進めてゐる。

一方同研究所は、企劃院強化の側面的役割をも勤める建前から、各方面の有能なる人材を網羅する事になつてゐるが、かねて勇退を取沙汰されてゐる瀧企劃院總裁の研究所入りは既に確定的に見られて居り、また陸軍側の調査官として星濟問題に

一家の見識を有する池田純久大佐も、現職を去つて研究所に轉ずるものと觀測されてる。

而して企劃院の機構強化問題は、既に政府部内でも論議されて居り、実現は時期の問題となつてゐる關係上、津亞研究所の機構確立と覗みふせて、人事の交流を計る為採であるから、両者の懸案は一挙に解決を見るものと傳へられる。

愛國陣営の統一実現か

永議会を目指し、懇と数の連絡

愛國革新陣営の統一戦線結成は、昨冬問題になつたまゝ少は止みとなつてゐたが其の後愛國労働農民同志会、愛國労働組合全國懇話会が中心となり、革新陣営統一強化の機運が醸成されつゝあり、愛同高山久哉、懇話会橋本房平氏等が肝入役となり、國聯、時協と協力、更に皇道会、明倫会、純正日本主義運動協議会等、地方に強國は指導力を有する團体の支持下に来議会を目指し、縦と横の連絡を固めんとするものゝ如くである。

九月中に於ける

政界裏面史情報

九月（目次）

一、農村中心の挙國政党運動は ―― 産組と中商工業者の對立のため
既成政党、愛國陣営方面で反對 ……（一）

一、國策會社設立の目的は ―― 一部経済機構是正による
日満支経済ブロック強化の前提か ……（二）

一、英國の對支外交再轉 ―― 蒋の對支借款を拒絶して
對支權益擁護の防共外交に後行 ……（三）

一、失業洪水を憂えて ―― 本年度豫算の緊縮方針につき
政友会池田藏相に重大進言 ……（四）

一、軍需産業に重課税説 ‖ 犠牲産業の負担を軽減して
長期聖戦に挙國産業報國せしめよ ……（五）
一、北支會社陣痛甚だし ‖ 重役陣整はず、経営方針両案対立
興中公司の解散で原棉問題惹起 ……（七）
一、民政党總裁問題は ‖ 新党樹立運動に重大関係
町田、櫻内両氏の動向注目さる ……（八）
一、戦時金融整備要望の聲 ‖
一、政府出資の金融金社案 二、興銀発行限度擴張案 ……（一〇）
一、時局對策調査会好評 ……（一一）
一、大和倶樂部愈々解散か ‖ 松井、白鳥、山下諸氏の脱退で
大川、石原の新倶樂部生れん ……（一一）
一、政友会内に新党実現か ‖ 總裁問題愈々急迫す ……（一二）
一、國内相剋解消運動 ‖ 愛國陣営内に現はる ……（一三）
一、政界秋の陣 ‖ 聖戦目的達成の線に沿ふ
政党連衡と新党運動 ……（一四）
一、蒙疆と北支を ‖ 同一政権での施政説に對して
政党方面で大反對 ……（一六）

一、抗日分子の潜行的テロ手段 ‖ 天津邦人迫害さる
英佛租界より日界に避難中 …… (一七)

一、對支中央機関大規模か ‖ 五相会議成行注目さる …… (一八)

一、秩山氏提唱の「挙國党」運動 ‖ 「新党運動」解決の鍵
近衛公果して總裁に出馬するか …… (一九)

一、満洲國の新生活運動 ‖ 「富家強國」に協和会乗出す
新豫算七百五十萬圓計上 …… (二〇)

一、宇垣第二次人事異動 ‖
次官後任伊藤、天羽有力か …… (二一)

一、保険國営論起る ‖ 小池氏新党樹立の旗印に用いん
總動員法第十一條適用派は反對 …… (二二)

一、官選案支持團体増加す ‖
私立改革案等も進言し、多年の懸案一挙解決 …… (二三)

一、満洲國家美齢の出現 ‖ …… (二四)

一、第七十四議会に於ては ‖ 革新政策の斷行困難か
依然相剋摩擦解消主義 …… (二五)

一、近衛公裏頭強権政治を布かん ‖ 無任所大臣設置説愈々有力
清水博士憲法違反に非ずと説く …… (二六)

一、生産力擴大のため ‖ 政府出資金融会社生れん
来議会提出のため急速立案中 …… (二七)

一、四面宇垣外相に風當り強く ‖ 池田藏相のアイデイア移行
近衛首相の態度注目さる …… (二八)

一、農革協議会と報國聯盟 ‖ 感情的に對立して結合不可能
協議会には後藤(文)板谷氏應援 …… (二九)

一、國際銀公司外資導入に活躍 ‖
新社長山田中將の渡米期得さる …… (三〇)

一、今後政治的に注目される團体 ‖ 大和、挙國党、
農革協議会、岡田、川島大將等重視さる …… (三一)

一、占領地區内の銀買上説 ‖ 正貨準備として紙幣を發行
同地区内の資源開發に金融 …… (三二)

一、中島飛行工場を國家管理に ‖ 戰爭對應の経済機構改革の為
軍部關係有力方面の要望 …… (三三)

一、首相の西園寺公訪問で ‖ 政府は一段と強化されたが
技術的處理が注視される …… (三四)

一、産業経済最高方針樹立のため ‖
商工省に顧問制々定か …… (三五)

一、政治上層機構改革と ‖
國民政党樹立の動き …… (三六)

一、人的要素壊光の建前から ‖ 小磯、柳川両將軍を第一線へ
板垣陸相の措置期待する …… (三七)

一、政党興廢の分岐點は来議會 ‖ 政党新事態對應の國策樹立に
關心、國民が果して喝采を送るか否か …… (三八)

一、右翼各團体分裂の危機 ‖ 對ソ、對英両派の對立 …… (三九)

一、民間支配階級の總動員 ‖ 秋山、前田、小川氏等活躍
結局新党の母体とならん …… (四〇)

一、總動員法は全面的に發動せよ、軍部関係、革新、愛國陣営
蹶起す …… (四一)

一、新支那對策討究のため ‖ 大川、石原両氏協議せん
新党運動も展開を見ん …… (四二)

一、依然北支会社人事問題難航 ‖ 大谷總裁、風見翰長の協議
産婆役は結局秋山氏乗出すか …… (四三)

一、久原氏の報知買收說 ‖ 政治的根據ありと注視さる …… (四四)
一、小會派方面に宣戰布告論起る ‖ 清瀨一郎氏議會で要望か …… (四五)
一、北支開發の訓練裁 ‖ 興銀の小竹、滿鐵の大村兩氏か …… (四六)
一、樞內氏の三日間に亘る招宴 ‖ 民政少壯代議士との協議は政黨更生問題討議會乘か …… (四七)
一、愛國的な思想的對立 ‖ 日獨伊の軍事同盟說と對支問題有利解決の反對說 …… (四七)
一、農革、產報、技聯の合同は ‖ 新右翼政黨の母體とならん 右翼陣營積極的に乘出す …… (四九)
一、教育者の渡支を現地で希望 ‖ 支那再建の教育方針樹立のため …… (五〇)
一、欧洲動亂チエコ問題で ‖ 東方會聲明書を發す 日支事變と共に成行注視さる …… (五一)

一、挙國政党の党首問題 ‖ 近衛公、秋田氏に拒絶した為
指導階級總動員計畫も挫折か …… (五二)

一、樞支院案は樞密院の諮詢を經ず ‖ 憲法、暫定的設置の方針か
外務、陸軍の諒解成れば直ちに成立 …… (五三)

一、「經濟會計檢査院」案 ‖ 土方、本位田氏等革新教授の画策
「革新社」愈々実踐運動に猛進 …… (五四)

一、千エコ問題でドイツ支持 ‖ 三派聯合で國民的運動起る
東方會、國同、右翼各派 …… (五六)

一、日本農民組合の中央聯盟脫退は ‖ 社大党、産業報國聯盟に大影響、杉山氏指導精神轉向の諒解運動 …… (五七)

一、宇垣外相辞任の真相 …… (五八)

農村中心の擧國政党運動は

産組と中商工業者の對立のため

既成政党、愛國陣営方面で反對

「國内相剋解消」「擧國一致体制」と「時局を相手とせず」「國民政府を徹底的に潰滅」は現内閣の重要なモットーであるが、「擧國一致体制」の線に沿ひ有馬農相、風見鞘長等の主宰する日本革新農村協議会では愈々後藤文夫氏等の支援を得て農村を基礎とし擧國一致の革新政党結成に乗出して来たが、之に政民両党等の既成政党が合流するか否かは頗る疑問とされてゐた處、既成政党方面では、日本革新農村協議会が「産青聯」を母胎としてゐる関係で、これに合流すれば勢ひ産組と對立してゐる全國中商工業者と對立する事になり、之は現内閣の相剋解消主義にも反するものであると言ふ處から社大党の一部、愛國陣営も共に反對する模様で、このため有馬農相、風見鞘長の意圖が何處迄実現されるかゞ興味を惹く事になつた。

國策会社設立の目的は

一、部経済機構是正による
日満ブロック強化の前提か

今回の支那事変の目的は政府の一月十六日の聲明にある如く東洋和平確立の聖戰であると強調して居る如く全國民は挙國一致目的貫徹に邁進してゐるが此の聖戰に伴つて政府は各方面に亘つて統制を断行して居る。即ち九月一日附の生活必需品の物價統制等を始め今後も必要に應じて統制を加へるものと豫想される。一方生産力の擴充を計る意味で國策会社の設立は増加されつゝあるが、之は日満支三國の経済ブロック完成によつて欧米の搾取主義経済ブロックに對抗するためであり、此の目的達成には當然我が國の資本主義経済機構の是正を必要とするので、今後は各方面に亘つて設置される國策会社は一部経済機構是正の前提であると見られてゐる

英國の對支外交再轉

蔣の對支借款を拒絶して
對支權益擁護の防共外交に後行

一月十六日の聲明に基く先般の五相会議決定の對支最高方針と共に板垣陸相の車中談は我方の對支決意を表現して餘りあるもので、このため英國の外交首脳は漢口攻略後に備へる蔣介石の借款を拒絶しその後の情勢を覗つてゐた處、國民政府は遂に親ソ態度を取るに至つた為め、英國では從來の態度を一変して防共外交に移行しつゝあるが、これは對支權益さえ毀損されなければ蔣政權を見殺しにしても差支へないと言ふ意向らしく今後の宇垣クレーギー会談の中心は專ら此點にありと豫想され注視の的となるであらう。

‖ 失業洪水を憂えて ‖

来年度豫算の緊縮方針につき
政友会池田藏相に重大進言

堅忍持久、勤險貯蓄奬励を以て對支長期策戰に備へんとする政府は、今後益々民需の節約を圖り軍需関係の生産力擴充に當らしめんと、するものゝ如く、来年度豫算編成の池田藏相の方針も極度の緊縮方針を採るであらうと豫想されてゐる。之に對し政友会方面では、物動計画の結果月々失業者を出し、商工省の轉業資金は失業者をカバーするによしなく、かくては失業者の洪水となり拾收すべからざる状態に陥るを憂え政友會政務調査会長大口喜六氏は池田藏相に此點を強調極端なる緊縮政策轉回について申入れたと言はれてゐる。これによると對支長期策戰上、一人の失業者も出さぬ様、しかも全國民一人残らずこの聖戰に協力し得る様政府は積極的に施政するが妥當であり、このためには軍民両需の生産を盛ならしめ、輸出の振興を圖り、農村對策を講ずべしと言ふのである。鎖國的な政策は長期對應の措置でなく

例へばこのまゝ聖戰終熄しても輸出振興に力を竭して置けば反動も少く從つてこの方法は和戰両様の對策であると主張するらしく、又、悪性インフレを防止するため物價抑壓の限度は餘程慎重な態度が必要であると言ふらしく、これに對し民政党では池田藏相の方針に賛成らしく緊縮政策を主張するらしいから来議会はこの問題を中心として華々しい言論戰が展開されるであらうと豫測されてゐる。

‖ 軍需産業に重課税説 ‖

犧牲産業の負擔を軽減して
長期聖戰に挙國産業報告せしめよ

政府の物動計畫、需給統制の結果平和産業は多くの犧牲を出し、失業者は自然増加する状態にあるに反し時局産業は益々隆昌し殷盛を極め、此の跛行的傾向は益々開きを大きくしつゝあるに鑑み、軍需工業方面に對し重税を課して平和産業方面の負担を軽減せしめよと言ふ説が朝野の間に起つてゐるが、この説に從ふと、軍需工

業の事業会社又は自身は勿論、従業員、職工に至る迄特別利得税を徴収せよと言ふのである。この問題は衆議会に於て税率問題の一つとして必ず取上げらるべき問題として、政党方面では目下研究中であると言はれてゐる。

◎ 池田藏相の人格両省に輝く

池田藏相の全人格は直ちに大藏、商工両省に反映して両省の事務は截然と區別され且つ批議する事は絶對になく大藏は商工の所管には一言も發言せず又商工も大藏の所管事務に感想すら述べないと言ふ。しかも両省に関連ある事務については協力懇望なる態度を持し衷心に協議すると言はれてゐるが、これは他省を壓迫せしむる美談であり、相剋排撃の現内閣にあつて範を垂れるものとして頗る好評である。

‖ 北支會社陣痛呈だし ‖

重役陣整はず、経営方針両案對立

興中公司の解散で原棉問題惹起

興中公司は北支開発会社設立と共にその傘下に當然吸收される事になつた為め北支の原棉買付、及び植付奨励が不可能になつたものである。之は宣撫工作上必要欠くべからざるものであるが、去る七十三議会に於て北支会社は興中公司の事業は継承するが、原棉の買付、植付奨励はなさぬ事を言明してゐるため来る十月三十一日興中公司が解散と同時に原棉に関する事は一切取扱はぬ事になるので、之は重大問題として現地方面で當局に進言する模様である。一方北支会社では一業一社案（現地案）一業数社案、中央案の二案が對立して北支会社首脳部陣容の整はぬ事と共に目下その陣痛は極度に達し大谷親義は之を苦慮してゐる模様であるが、経営方針は漸く現地中央両案を折衷して事業別により無理する事になつた。例へば交通は一業一社、鐵業は一業数社と言ふ風に妥協成立した模様である。

‖ 宇垣外務人事愈々断行 ‖

革新陣営方面では不満

宇垣大将の外相就任後、外務省の人事異動問題は白鳥大使の次官運動等があり頓も注目されてゐたが支那事変も漢口攻略後の外交政策の遂行上愈々首脳部の更迭が廣範圍に行はれる模様であるが傳へられる所によると、次官東郷大使、駐獨大使に大島中將、イタリ大使に白鳥公使、重光ソ大使は留任、吉田駐英大使は本省顧問（新設）駐英大使堀内次官等であるが問題の白鳥大使の駐伊大使は色々な意味に於て噂されて居り、宇垣人事評は政界、革新陣営方面では悪評が傳へられてゐる。

‖ 民政党寛裁問題は ‖

新党樹立運動に重大関係

町田、樫内両民動向注目さる

遠く攻略も目前に迫り又明年度豫算問題等愈々政治季節となり政党方面では戦後

‖ 戦時金融整備要望の聲 ‖

一、政府出資の金融会社案

二、興銀発行限度擴張案

戦局の進展と共に生産力の擴充は必至となり、このため今後益々金融整備の必要が朝野の間に叫ばれて来た。これが對策として、第一案には政府出資の金融会社を設置する事、（欧洲大戦當時アメリカが設置した戦時金融会社案）これが若し技術的に設立困難とすれば第二案興業銀行の債券発行限度を五億から十億に増額したのを更に五億圓の増額許可をなし十五億圓に擴張する事、興銀に於ては既に八億圓の貴出しをなしてゐるので餘裕なきため、この案が考へられたのであるがこの金融の對象となるものは一、軍需品生産、一、輸出産業、一、軍事関係事業の損失補償である若し又右両案共不可能の場合は國家總動員法第十一條を發動して保険會社、銀行等

裁策等に積極的に乗出しつゝあるが、政友会では例の總裁問題で複雑な関係を有して居り一方民政党でも明年四月には總裁の任期終了するので後任問題が抬頭してゐる。即ち次期後任に有力視されてゐる者は櫻内幸雄、永井道相の両氏であるが町田總裁は留任を意圖して居る模様である、即ち町田總裁は今年の役員改選當時噂されてゐた櫻井兵五郎氏を幹事長に採用せず直系である勝正憲氏を又政務調査会長は松村謙三氏を起用して自己勢力の保持的改選を断行したのである、其の他重要ポストには殆んど直系を配置したことは總裁問題の策動を防止するためであり留任を決定してゐる事は充分にうかゞはれる、此のため後任候補者側でも策動を控へて居り全く動きはないが一部小壯代議士間に總裁の處置に不満を有してゐる事は事実であり多少永井派が陣備をなしてゐる模様である。一方櫻内派は時期到来を待ち總裁が留任と決定した場合は民政党に見切りをつけて大乗的見地より政友会其の他の小会派と提携し大新党樹立に乗出さんとする態度を有してゐるもの、如く、何れにしても民政党の總裁更迭問題は政友会方面にも反映する模様で此の成行は頗る注目されて

に命令により金融をなさしむる等が考慮されてゐるが、何れにしても今議会に於て何等かの形があらはれるものと見られてゐる。

‖ 時局對策調査会好評 ‖

朝鮮總督府では時局に鑑み時局對策調査会を設置し、本日その發会式を挙行したが、これは我が大陸政策及前進兵站基地たる特殊使命を有する朝鮮の重要性に鑑み内鮮一体を更に強化し長期建設に邁進するため物心両面に亘り統治諸方策に付検討を加へ緊急國策に順應するため設立されたもので、会長は政務總監が就任する事になつたが、これは一昨々年の朝鮮会議にも比すべきヒット性が豫想され好評である

‖ 大和倶楽部愈々解散か ‖

松井、白鳥、山下諸氏の脱退で

大川、石原の新倶楽部生れん

徳川義親候を会長とする大和倶楽部は松井、石根大将の内閣参議入りを始め山下大佐（内閣秘書）の脱退により又近くは白鳥公使が駐伊大使の栄轉等で其の中心メンバーは殆んど東京にゐない結果となるので、大川周明、石原廣一郎氏を中心とした大和倶楽部の改組を断行する模様である。

然し同倶楽部内に於ける空氣は大和倶楽部結成當初に於て水交社が発会式をなし當時山下大佐が関係してゐたために末次内閣運動の前提であるかの如く今まだ傳へられてゐるので此の際大和倶楽部の名称をも変更せんとの一致を見てゐると云はれ大和倶楽部は事実上の解散となる模様である。

‖ 政友会内に新党実現か ‖

總裁問題愈々急迫す

最近の議会前後には必ず新党運動が抬頭するが今年も第七十四議会を前にして政友会總裁問題に関聯して新党運動が一部に行はれてゐるが、政友会内の革新分子は

要するに今日の政党が凋落するのは党内に時代に逆行する自由主義者が指導してゐるためであると云ふ見地より此の自由主義を排撃すべしと秘かに協議中であつたが愈々具体化する段取りとなり其の名称は護國党と傳へられてゐる。然し実際問題として根強き勢力を有する自由主義陣営を党内より排撃することは困難で寧ろ革新派の除名が先に行はれるのではないかと政界通は見てゐる。

‖ 國内相剋解消運動 ‖

愛國陣営内にもあらはる

戰争目的達成のため近衛首相は國内相剋摩擦解消のため各政党、財閥、愛國陣営等の有志に協力を求めつゝあるが、政党内には首相の意圖を支持するものもあり政党の横断的結成を主張する者もあらはれて新党運動に反對する一派が政民両党内にもあらはれてゐる様であるが、愛國陣営方面でも首相の意見を諒として近衛首相の御聲がかりの人に對しては政策についても攻撃批難をせぬといふ建前を取つて守垣

外交支持の旗幟を鮮明にした一派があり、之は荒木文相の官選問題でも荒木案を支持し大学側に懇談して文部省對大学の相剋解消に努力してゐる様である。

‖ 政界秋の陣 ‖

聖戰目的達成の線に沿ふ政党連衡と新党運動

政界秋の陣を鳥瞰すれば、大体聖戰目的達成のため國内相剋解消の立場から既成政党は現在のまゝ從来の行掛りを捨てゝ大同團結せねばならぬと言ふ意見で、各政党の横断的連衡を主張する意見が多数ある様であり、これは最近失業對策問題を中心として從来消極的と見られてゐた民政党が國民生活の安定を基礎として全國民一人残らず聖戰に参加協力すると言ふ建前を取る傾向があらはれ、これが政友会の右に関する積極政策と合致し両幹事長を中心として共同戦線を張り池田蔵相に進言する様様でこれが政民連衡の契機と見る向もある様である。

一方之に對し革新分子を中心として各政党内に底流する新党運動派は政党を聖戰中心に再備成する必要を力説してゐる様で、この一派の意見は政民両党に内在する總裁問題を大局から見て排難攻撃し、之を新党運動樹立に利用する傾向がある。今新党運動の動きを見るに東亜國策研究会は政友会を中心としこれに小会派を加へたものであるが、同會内で新陣容を樹て、目下頻りに積極的に動いてゐる様であるが、その顔振れを見ると、小委員会を設置し、その会長に堀切善兵衛氏、副会長田子一民、清瀬一郎両氏が就任し生田、寺田、上田、窪井、青木、野中氏等十七名の幹事を選任してゐて、對支問題の自己認識を高めると同時に、重要政策を樹立して政府に進言せんとしてゐるが、之の共鳴者を各層から求めてゐる、これが今秋の新党運動ではトップを切つて動いた譯で、次は政友会に護國党の動きがあり、民政党には三木武吉氏一派の新党運動あり、總裁問題の趨勢によつて櫻内氏一派もこの運動に乗出す氣配があり、この外鈴木文治、赤松克麿、豊田收、野中徹也氏等が松岡洋右氏を擁せんとする運動もある等この頃の颱風の如くその圏内が何處を通過するか、

何とはなしに荒模様である。この結果前記の相剋解消主義の建前から政党の横断的連衡を来す一派と、新党運動こそ聖戦目的達成の國策の線に沿ひ得るものとなす二潮流が如何に交錯し、合流し、その間如何なる波瀾を描き出すかは見ものである

‖ 蒙疆と北支を ‖

同一政権での施政説

政党方面で大反對

蒙疆自治聯盟政府の北支政府合流の抬頭並びに北支開発会社をもつて蒙疆資源開発にも當らせんとする説がある様であるが、政党方面では若し右の如き説が事実あるとすれば大問題であるとなし左の如き理由で反對してゐる様である。即ち蒙疆と北支では民族も習慣も異にしてゐるため一政権が両方を統制する事は事実上不可能であり、又蒙疆民族はやがて外蒙に進出して防共の堅塁となるべき特自の大使命があるので之は飽迄も政権が独特の施政をなすべきで、從つて資源開発も独自の経営をなすべしと言ふのである。

‖ 抗日分子の潜行的テロ手段 ‖

天津邦人迫害さる

英佛租界より日界に避難中

（在天津河上本社特派員発）英佛両租界に巣食ひ、執拗なる蠢動を續けてゐる抗日分子は漢口陥落を目捷に控えて潜行的テロ手段を益々露骨化しつゝあり、加ふるに両租界共に之が不穏分子の一掃を約し乍ら何等その誠意を示さざるのみか却つて之等徒輩の跳梁を助成するが如き態度を示すに到り両租界居住の邦人は勿論各方面も有様で、日界及華街に移轉を希望するものが續出し、銀行会社関係も敷地家屋の買收借受けを急きつゝあり、國際運輸でも頻々たる滞貨の放火に鑑み特一區及三區に移轉を開始したが更に民團に於ては之等希望邦人の續出に備み、九月一日両租界居住代表者を召集種々協議を行ふところがあつたが更に三日より五日迄三日間商業

学校講堂に於て在住戸主及び責任者を召集し協議すべく告示を発した、この状態を見た英佛両租界當局は大恐慌を来たし両國共首脳者間に於て緊急協議を續け、特に英租界に於ては際てより英國要人の會合場所ビクトリヤ街一七一號皇宮飯店の一室に英佛蘇関係要人が何事か秘密協議を續出してゐる。猶、邦人は陸續と英佛租界を引き揚げ日租界に移轉してゐる。

‖ 對支中央機関大規模か 五相会議成行注目さる ‖

長期戦に併行して建設工作も進められつゝあるが、對支中央機関の問題も漸やく表面化し軍部側でも積極的に愈々乗出して来たことは問題だけに頗る注目されてゐる、事変當初に於て首相の方針と外務省の意見が一致せずに中止となつた事実もあるので中央機関の具体化は政治的に特に重視されてゐるが大体に於て軍部の主張する大規模の採用となる模様であるが何れにしても議会迄には実施せねばならない事情もあるので九、十月の五相会議の進行は政界から重要視されてゐる。

‖ 秋山氏提唱の「挙國党」運動 ‖

「新党運動」解決の鍵 近衛公果して總裁に出馬するか

近衛首相が先般来屢々政党出身閣僚並に参謀と会同懇談した内容については種々憶測されてゐるが、これは中央聯盟強化には政党を主力にすると言ふ見方が多い様であつたが、一方には秋山定輔氏提唱の新党「挙國党」結成の下相談であると言はれてゐる。これは聖戦目的達成のため相剋摩擦を排撃して真の戦時下挙國一致を圖ると言ふ意味から、一切の行掛りを捨て所謂支配階級の總動員をなすと言ふ理想の下に畫策されてゐるものと見られてゐるが、この運動に近衛公自身がどの程度迄力を入れるか、即ちこの「挙國党」に總裁として乗出すか否かゞ成否の分岐點である と言はれてゐる。然しこの運動に對しては提唱者の秋山氏は勿論林田清氏、石原廣

一郎氏、久原氏も或は側面的に援助するものと見られてゐるから若し近衛公が出馬するとなれば行悩みの新党樹立運動は一挙に解決するものとして期待されてゐる。

‖ 満洲國の新生活運動 ‖

「富家強國」に協和會衆出す

新豫算七百五十萬圓計上

満洲國に於ては来る十五日建國記念日を期して「富家強國」のスローガンを掲げて新生活運動を開始する事になつた。之れは先般協和会機構改革の基礎を固め今般愈々実行する事になつたが、その爲めの新豫算は七百五十萬圓を計上し、之を創立當時のそれに比較すると約十倍になつて居る譯である。而して「富家強國」運動は消費節約を徹底し、必要物資の充足を合理化すると言ふのがその趣旨で、之を実際生活に取り入れると言ふ運動であるが、之は支那再建には好個の参考になるだらうと期待されてゐる。

だらうと期待されてゐる。

‖ 守垣第二次人事異動 ‖

次官後任伊藤、天羽有力

宇垣外相は就任以来各方面から問題視されて居た外務人事第一異動を発表したが漢口戰の陷落に伴つて世界各國の支那事変に對する再檢討より考へて更に大使公使の更迭を行ふと同時に堀内次官の更迭をも斷行する模様である、此の人事範囲は駐米有藤大使の歸國による外務顧問就任、杉村駐佛大使、目下上海方面で活躍してゐる谷公使、伊藤述史大使の今後の動行であるが、伊藤大使は日英会談後に更迭されることとなつて居る堀内次官の後任として中沢入りが傳へられて居るのであるが、伊藤大使の次官困難なる場合は天羽英二（前情報部長）の次官就任となる模様であるが、一時傳へられてゐた谷公使はある事情によつて次官就任は困難視されてゐる。

‖ 保險國營論起る ‖

小池氏新党樹立の旗印に用いん

總動員法第十一條適用濫は民對

生産力擴充の建前から、朝野の間に金融機関の整備が叫ばれ當局も之に對し相當考慮をなし近く具体案を発表すると見られてゐるが、一方各政党内の新党運動派は其の樹立に對し、從来言ひ古された各国以外に新しき政策なくこのため新党運動の進展を見る事を得ない状態にあるに鑑み、革新党の小池四郎氏は保險國營論を以て新党樹立の旗印とすべく目下鋭意之が研究をなしつゝあるが、政府出資の金融会社税立案、興銀増資或は発行限度拡張による金融機関整備の方法よりも保險國營論の方が理論的にも実際的にも適切妥當であると言ふのがその論據であるが、一方之に對し國家總動員法第十一條の発動を促して強制的に金融せしむれば、無理に保險を國營にして物議を醸す必要はないと言ふ反對論もあり、小池氏の動きは相當注目されてゐるが、小池氏一流の論陣で保險國營論を主張すれば、

相當の共鳴者も出るであらうし、之に附隨して資本主義の是正も叫ばれる事になるうから小池氏が新党運動にこの旗印を用いて乘出すとすれば、沈滯氣味の政界に久し振りで活氣を呈するであらうと期待されてゐる。

‖ 官選案支持團体増加す ‖

私大改革案等も進言し

多年の懸案一挙解決

教育界の刷新を計るために荒木文相は官立大学の官選案を提出し断乎たる決意をもつてゐるが、此の官選案に對し左翼陣営方面では六月初より積極的行動を始めたが之と同時に右翼では國民精神總動員中央聯盟をも利用して一大民衆運動を起さんとして居り、官選案のみならず此際多年の懸案であつた私立大学の改革をも一挙に断行せんとなし荒木文相に私大改革案を進言するなど、其の動向は極めて注目されてゐるのである、此の間にあつて、政府部内に於ては、末次内相、有馬藏相等も賛

成するところとなり、官界では内務省、精動聯盟、有馬農相の指導下にある農村革新協議会等も荒木案を支持することに決定し議会を前にして官民一致して大学改革運動をなさんとしつゝあり此の成行は極めて注目されてゐる。

◎ 満洲國宋美齢の出現

満洲國の皇土樂土建設工作は満洲事変七ヶ年間着々進められて居り今回の支那事変下にあつても我軍の援助並びに國境線確保に當つて居るが現満洲國皇總務長官の令夫人は満洲國宋美齢と言はれ、日満政界より注目され一部からは非難されて居る即ち同夫人は日系官吏官にあつて種々政治的活動をなしてゐる模様で特に協和会関係者等の家庭を訪れ家庭的工作をするなどゝ傳へられ満洲國宋美齢と叫ばれて居るさうである。

‖第七十四議会に於ては‖

革新政策の断行困難か

依然相剋摩擦解消主義

前議会に於ては政府提出の七十四件の法案は会期延長も見ずに通過を見たが、中にも國家總動員法案及び農地方案、電力國家管理案等相當革新案があり之等の通過は色々な意味に於て注目されてゐたのである、来る議会に於ても前議会同様に革新案が提出されるものと豫想して居る向もあるが目下の所では前議会程に重大視されるものがなくむしろ相剋摩擦解消主義によつて漸進主義となる模様である。即ち首相の意圖する議会制度の改革、行政機構の改革等は事変中でもあり、對立を生ずるが如き恐れがあるので、此の際極力回避すべきであるとの空氣もあるので今議会に於ては革新政策の遂行は困難であると同時に政府もこの點考慮してゐるものと見られてゐる。

＝近衛公寡頭強権政治を布かん＝

無任所大臣設置説愈々有力
清水博士憲法違反に非すと説く

近衛首相が夏期の間軽井澤で朝野の名士と会談したり、政党出身の閣僚、参議と會同した後には会談の内容として必ず無任所大臣設置説が噂に上つてゐたが、これは近衛公在野時代からの主張である行政機構改革の根本をなすもので、近衛公としては何時の日か、嘗つて振出した手形は決済すべきであるとなし、特に政党出身閣僚、参議には無任所大臣設置の諒解を求め、政党からは眞の代表を無任相に送る様要望したとも傳へられてゐる。一方近衛公は各省大臣を廃して無任所大臣を設置する場合、國務大臣と各省行政長官の兼任を解き區別する事が、憲法違反になるかどうかと言ふ事は、既に近衛公の法律顧問である清水博士に就いて研究済みであり、この上は弁償の問題が残つてゐるに止るので、池田藏相の健康問題と併せて、この無任所大臣説置説は近衛公年来の主張である寡頭政治実現と言ふ意味から各方面の

注目を惹いてゐる。

＝生産力擴充のため＝

政府出資金融会社生れん
来議会提出のため急速立案中

生産力拡充の建前から金融機関整備は戦争目的達成のため是非共必要であると言ふ事は既に朝野の常識となつて来たが、政府でも興銀増資或は発行限度拡張をなさず政府出資の金融会社設立案を樹立するため目下鋭意研究中であるが、資本金をどの程度にするかと言ふ事が問題で、或は政府、民間共同出資と言ふ形になるかも知れないが、その場合は保険会社、各銀行に強制割當がなされるものと見られてゐる而して此案は来議会に提出するため立案を急いでゐると言ふから、近く内容が発表されるものと見られてゐる。

四面宇垣外相に風當り強く

池田藏相のアイデイア移行

近衛首相の態度注目さる

近衛内閣第二次改造によつて宇垣大將の外相就任、池田成彬氏の藏相商相就任等で内閣は一段と強化されたと見られて居たが然し宇垣外相に對しては依然として革新陣営、右翼陣営方面に非難の聲があり又近くは外務省人事問題に関して兎角の風評が流布されてゐたのである、此の間池田藏相は就任以来對外関係より宇垣外相と密接なる連携を有してゐたと言はれてゐたが、議会も迫り政治季節となり政界は一段と緊張しつゝある今日宇垣外相に對して相當今議会は風當りが強いと豫想されるので池田藏相は就任當初の如くあまり密接なる関係を持たなくなつた模様である。これは同氏がかつてアイデイアの相違から三井と心中をせず退いたと同様視されこの間に於ける近衛首相の態度は注視されてゐる。

農革協議会と報國聯盟

感情的に對立して結合不可能

協議会には後藤（文）板谷氏應援

國民精神總動員中央聯盟の拡大強化改組の前奏曲として、日本農村、革新協議会（母体は青産聯）と労資協調会を土台とした産業報國聯盟（母体は全産聯）との合流問題は両者首腦の間に種々畫策されたが、全産聯が工業倶樂部膳桂之助氏等を中心としてゐる関係から産青聯の少層分子は感情的に之を嫌ひ独自の行動を取らんとしつゝある。一方有馬農相、風見翰長等はこの問題とは別個に農村革新協議會の擴大強化を圖りつゝあり、現に後藤文夫氏を外廓的にその強化に協力しつゝある、又千石興太郎氏一派は着々農村に向つて産組勢力の増大を圖る傍ら産青聯の革新分子と提携して新党樹立に奔走してゐると言ふから産業報國聯盟と日本農村革新協議会は到底同じ軌道に乗る能はざる状態に立到つた。又河原田、町田、膳氏等も之の趨勢を見て産業報國聯盟の使命に向つて独自の行動を横極的に採つてゐる模様である

四面宇垣外相に風當り強く

池田藏相のアイデイア移行

近衛首相の態度注目さる

近衛内閣第二次改造によつて宇垣大將の外相就任、池田成彬氏の藏相商相就任等で内閣は一段と強化されたと見られて居たが然し宇垣外相に對しては依然として革新陣営、右翼陣営方面に非難の聲があり又近くは外務省人事問題に関して兎角の風評が流布されてゐたのである、此の間池田藏相は就任以来對外関係より宇垣外相と密接なる連携を有してゐたと言はれてゐたが、議会も迫り政治季節となり政界は一段と緊張しつゝある今日宇垣外相に對して相當今議会は風當りが強いと豫想されるので池田藏相は就任當初の如くあまり密接なる関係を持たなくなつた模様である。これは同氏がかつてアイデイアの相違から三井と心中をせず退いたと同様視されこの間に於ける近衛首相の態度は注視されてゐる。

農革協議会と報國聯盟

感情的に對立して結合不可能

協議会には後藤（文）板谷氏應援

國民精神總動員中央聯盟の拡大強化改組の前奏曲として、日本農村、革新協議会（母体は青産聯）と労資協調会を土台とした産業報國聯盟（母体は全産聯）との合流問題は両者首腦の間に種々畫策されたが、全産聯が工業倶楽部膳桂之助氏等を中心としてゐる関係から産青聯の少層分子は感情的に之を嫌ひ独自の行動を取らんとしつゝある。一方有馬農相、風見翰長等はこの問題とは別個に農村革新協議會の擴大強化を圖りつゝあり、現に後藤文夫氏を外廓的にその強化に協力しつゝある、又千石興太郎氏一派は着々農村に向つて産組勢力の増大を圖る傍ら産青聯の革新分子と提携して新党樹立に奔走してゐると言ふから産業報國聯盟と日本農村革新協議会は到底同じ軌道に乗る能はざる状態に立到つた。又河原田、町田、膳氏等も之の趨勢を見て産業報國聯盟の使命に向つて独自の行動を積極的に採つてゐる模様である